

米沢ブランド戦略 資料編

2

平成 29 年 3 月

米沢市

目次

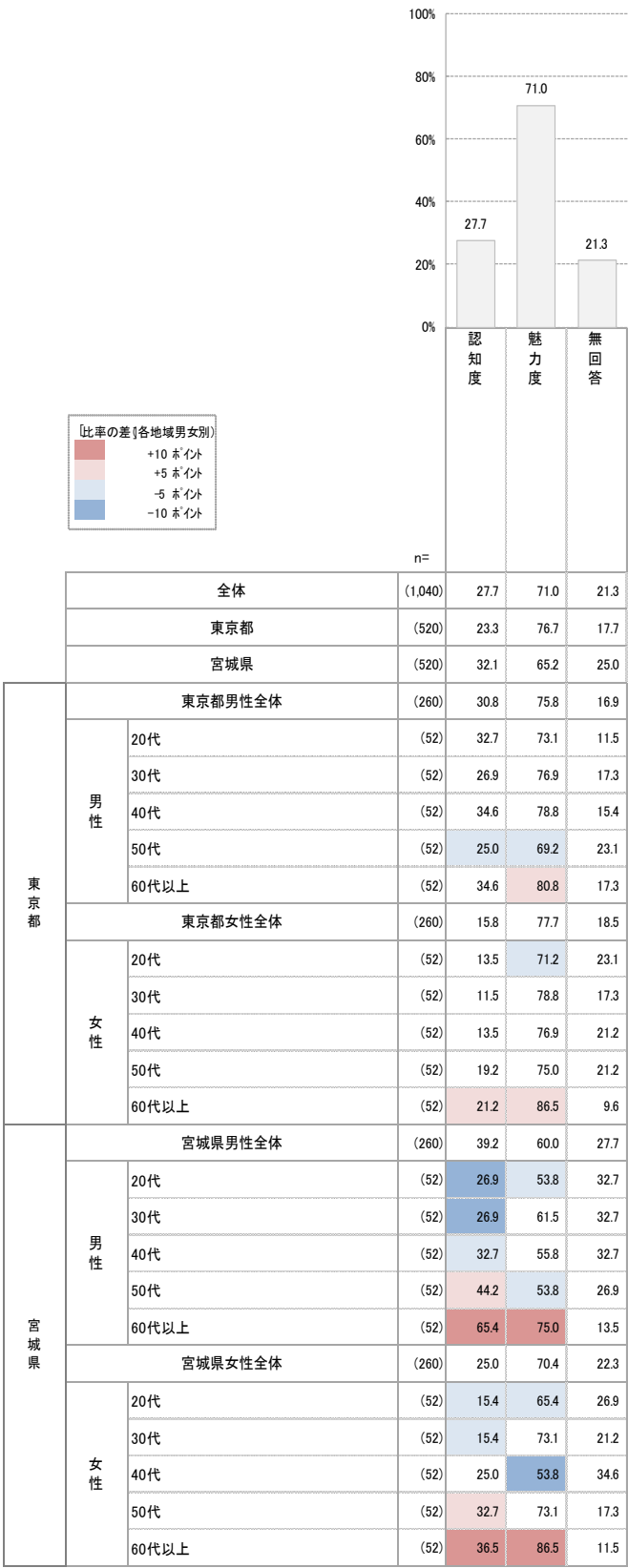
⑯ 米沢市地域資源認知度評価（個別）	2
⑰ 主な自由意見（抜粋）	17
3. 各種団体の聞き取り調査.....	28
（1）調査目的	28
（2）調査項目	28
（3）調査方法	28
（4）対象団体・実施日時.....	28
（5）聞き取り調査結果.....	29
① 米沢観光コンベンション協会.....	29
② 米沢市文化課.....	32
③ 米沢市都市整備課.....	35
④ 米沢市観光課.....	37
⑤ 米沢市商工課.....	40
⑥ J A山形おきたま.....	42
⑦ 米沢繊維協議会.....	45
⑧ 米沢青年会議所.....	48
⑨ 米沢市総合政策課.....	50
⑩ 米沢商工会議所.....	52

①米沢市地域資源認知度評価（個別）

注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

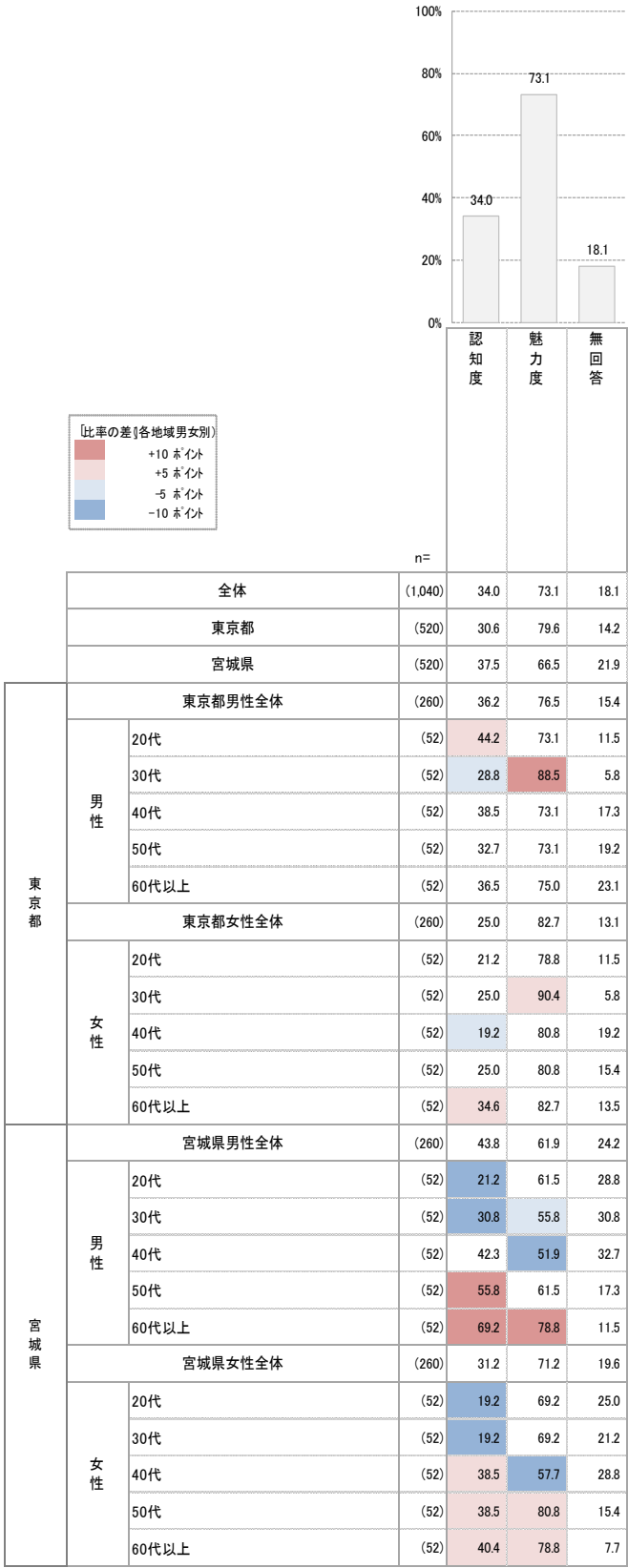
NQ6S1

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。天元台高原



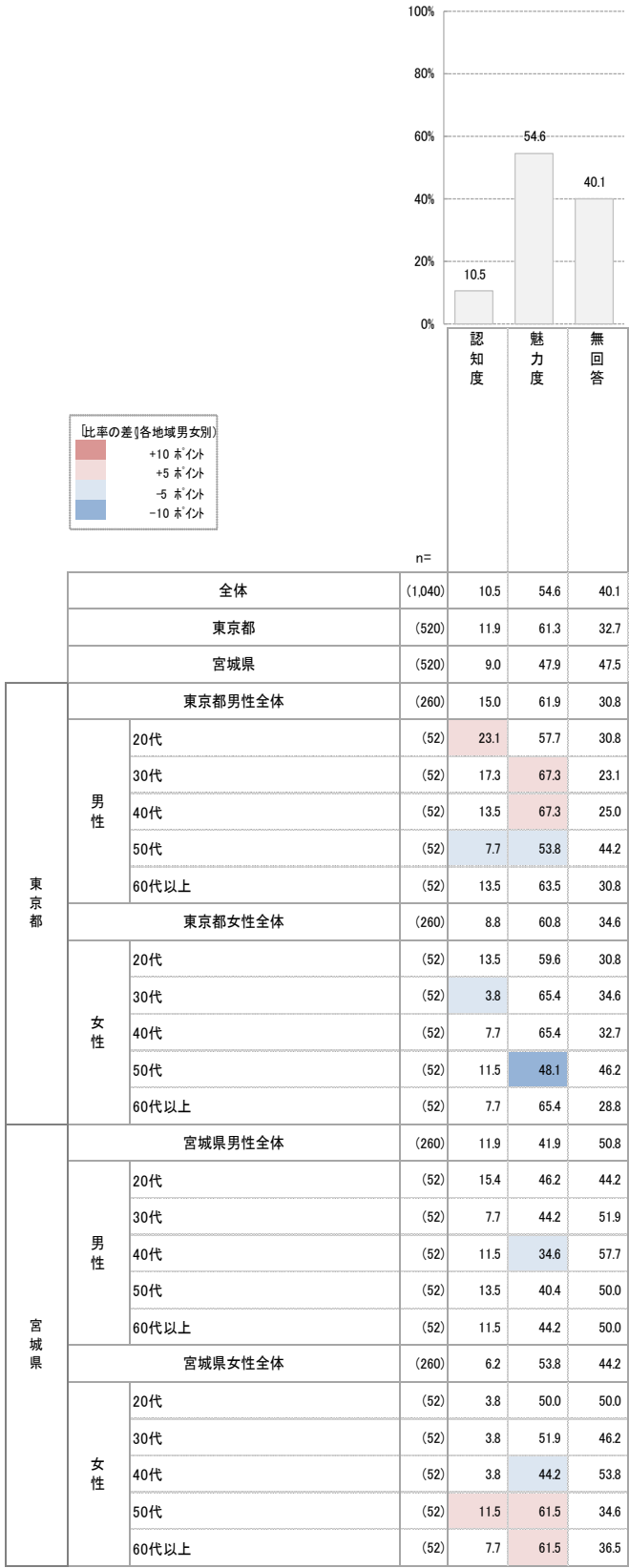
NQ6S2

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。吾妻連峰



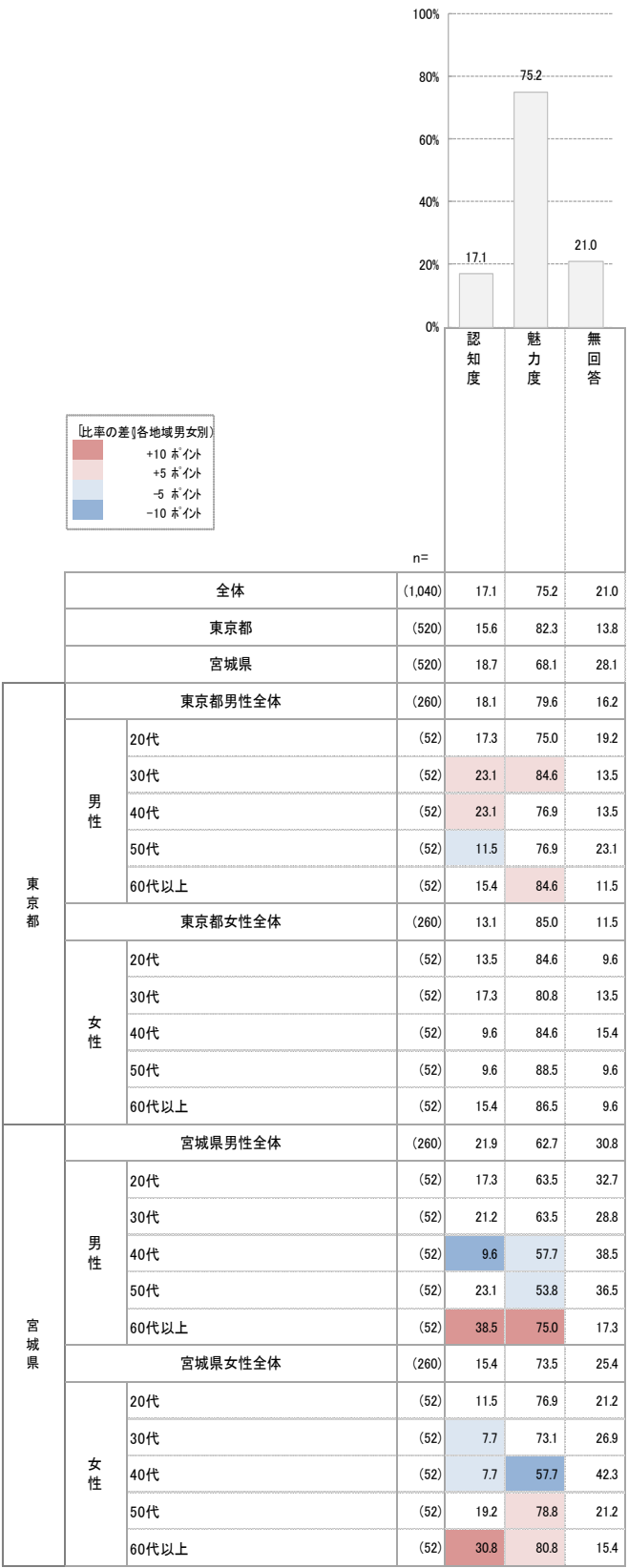
NQ6S3

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。斜平山



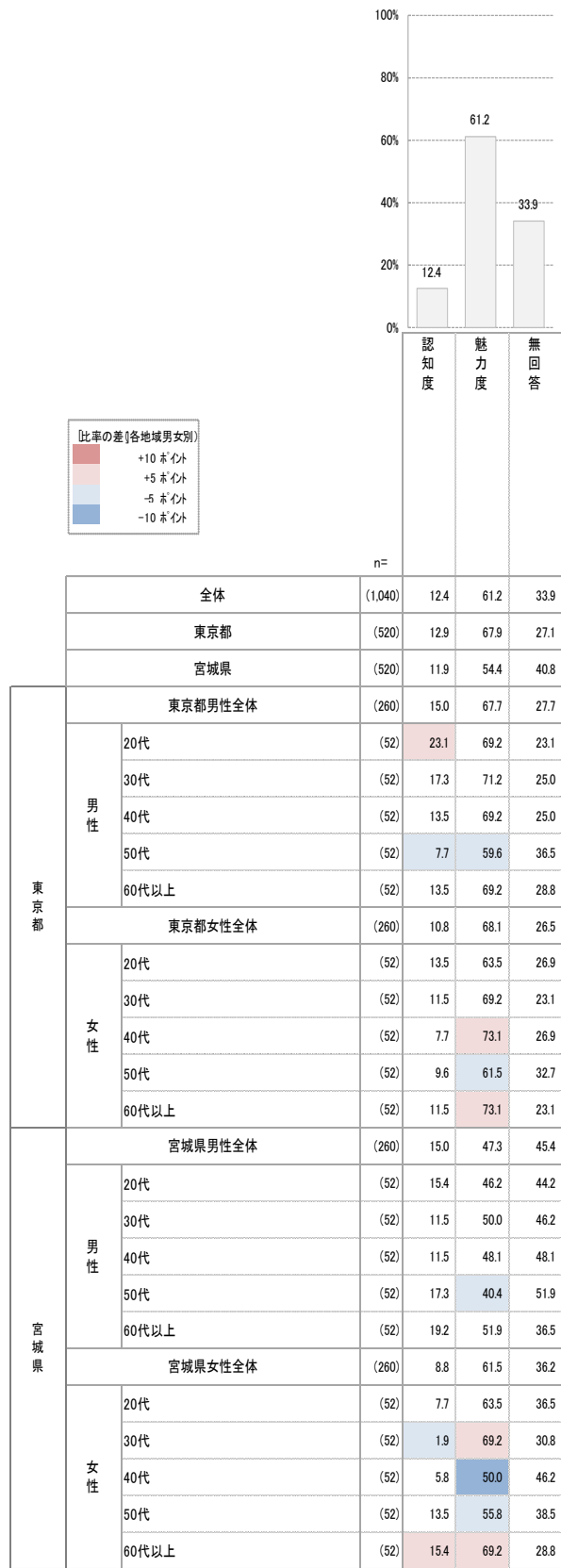
NQ6S4

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。滑川大滝



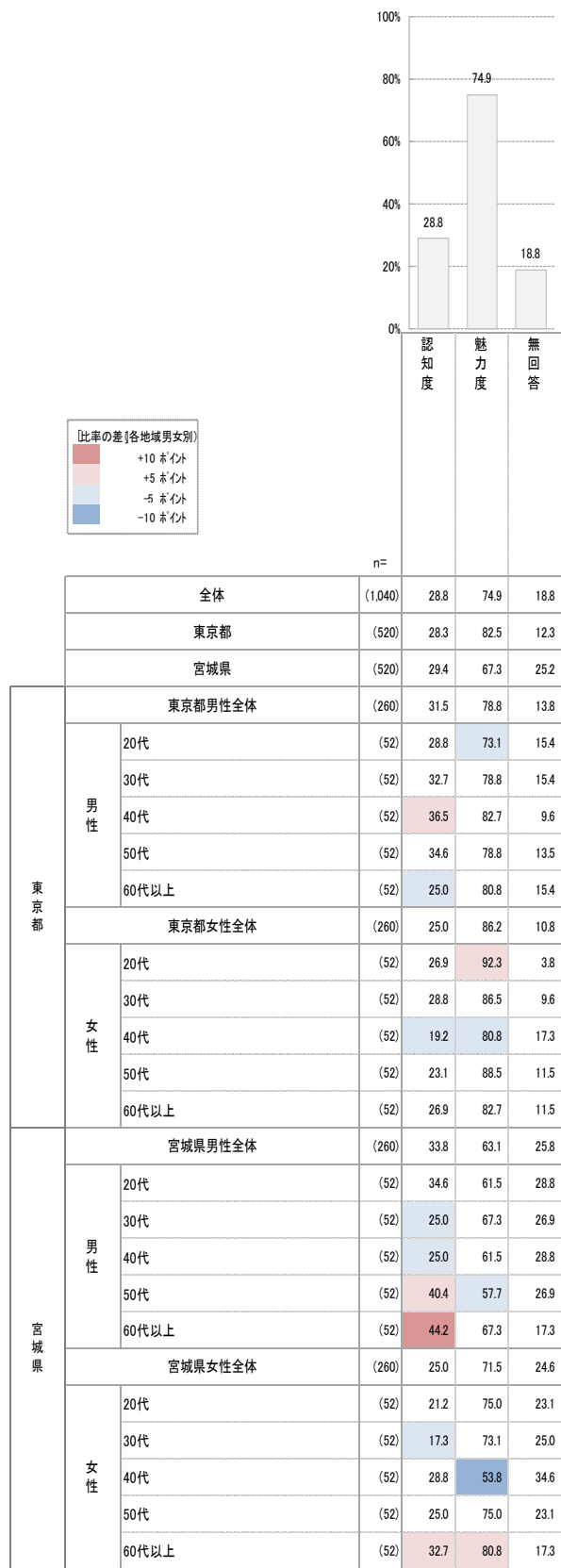
NQ6S5

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。松川



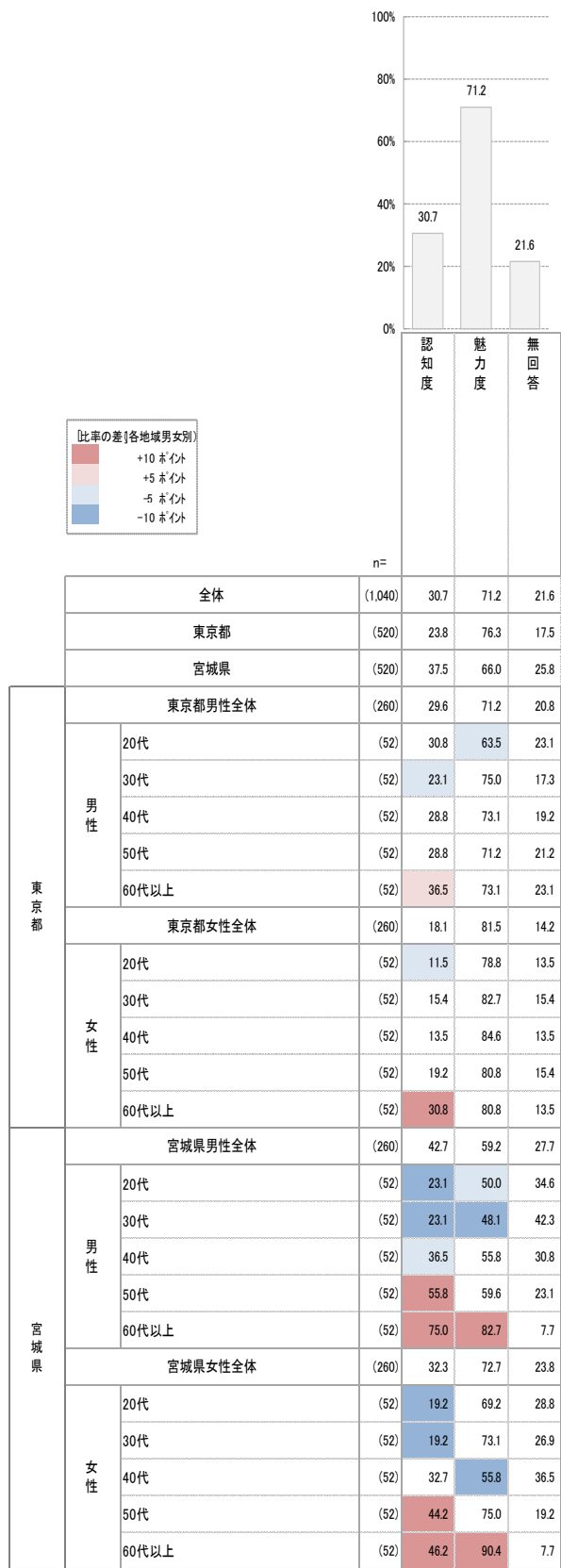
NQ6S6

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。最上川源流



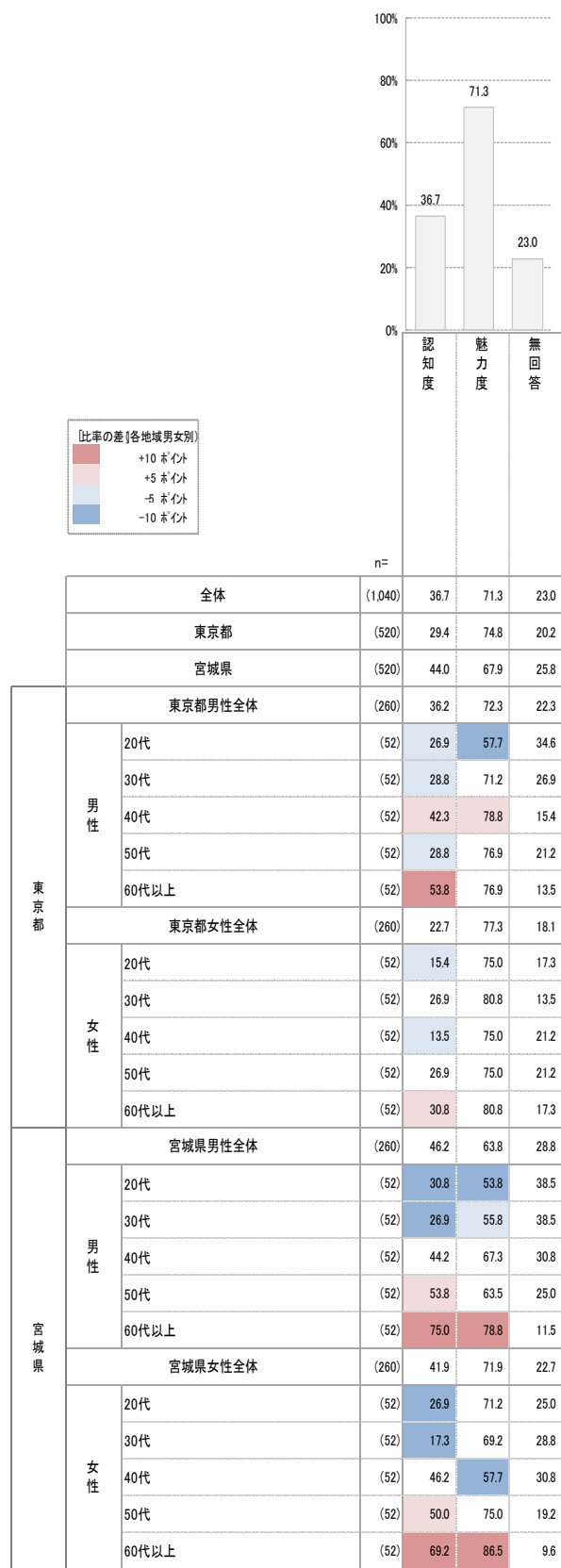
NQ6S7

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。西吾妻スカイパレー



NQ6S8

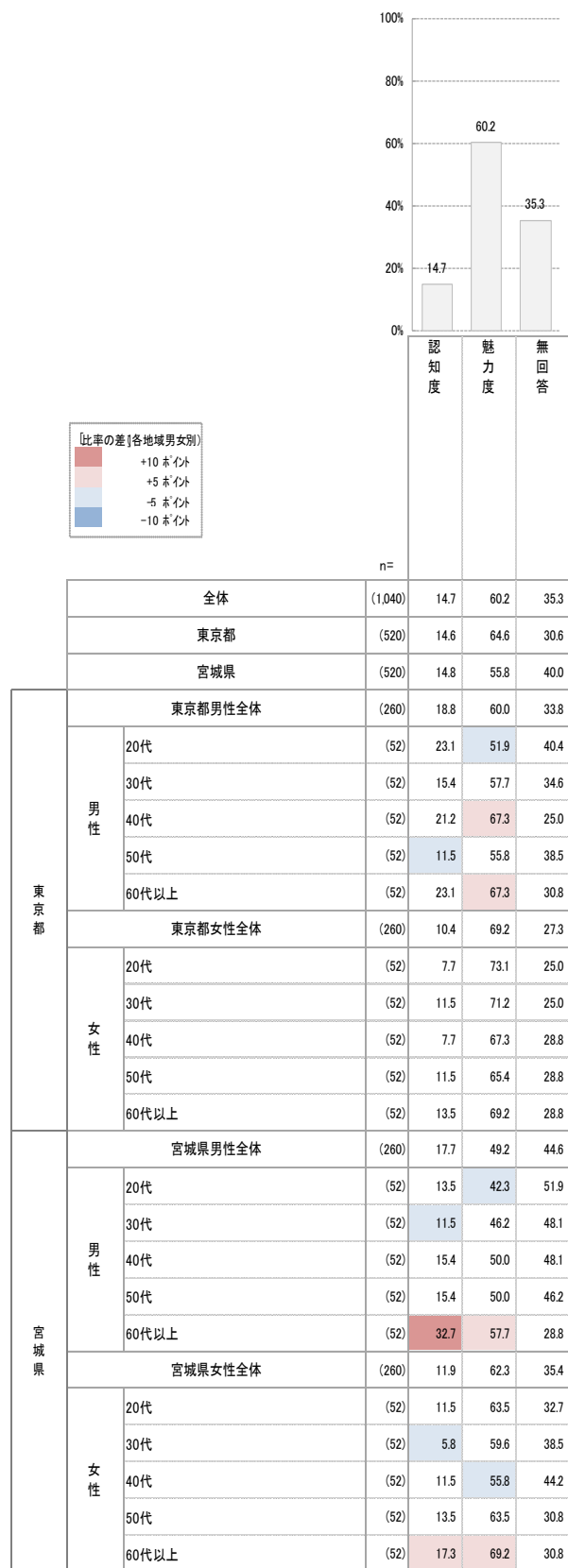
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉神社（登録有形文化財）



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

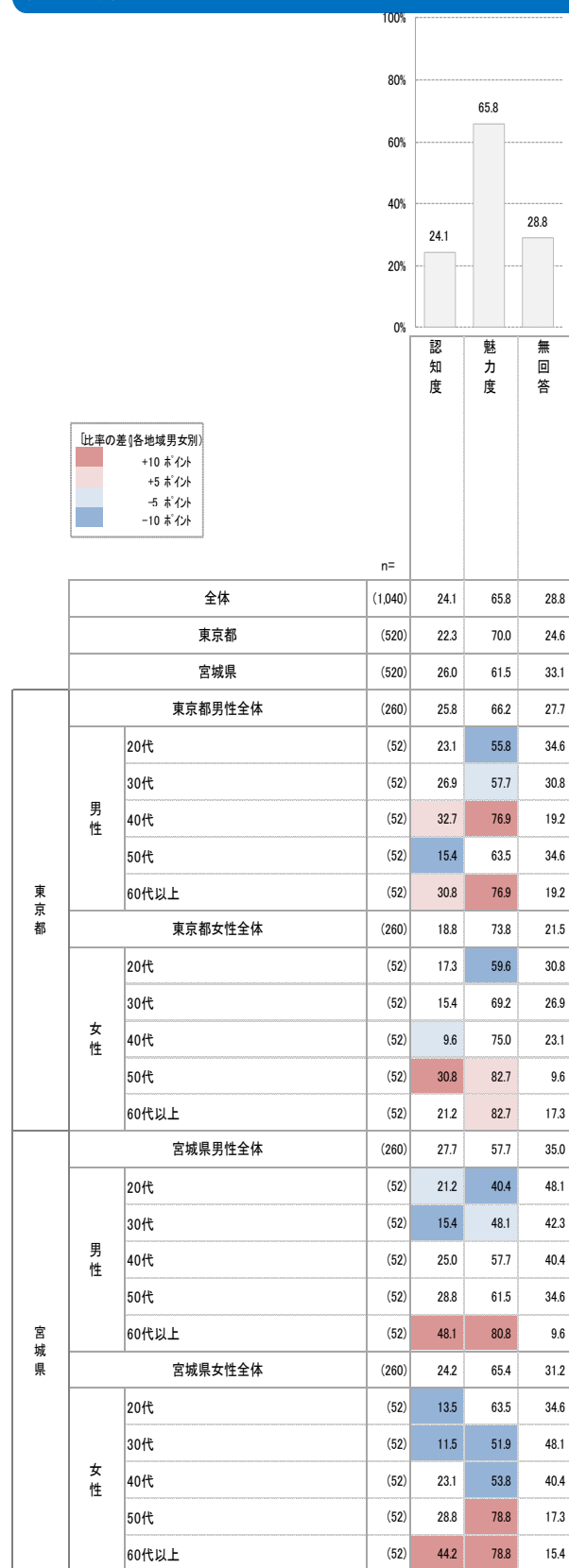
NQ6S9

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。松岬神社



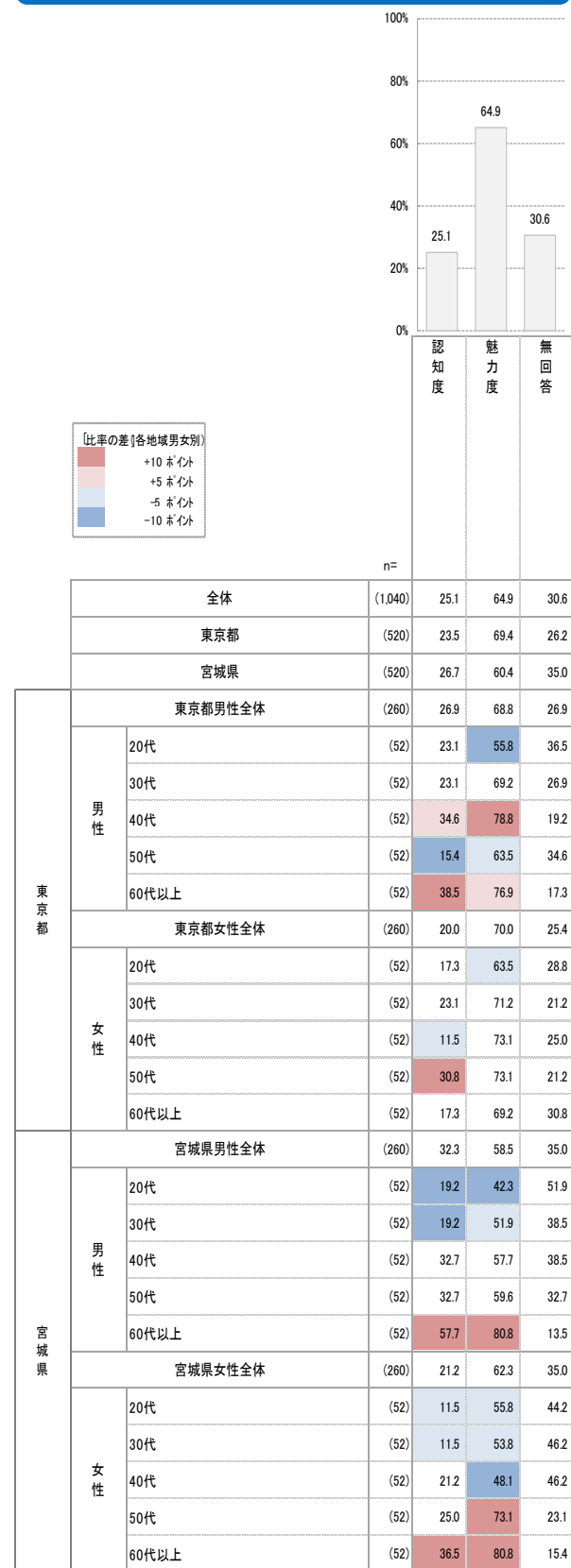
NQ6S10

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢市上杉記念館（上杉伯爵邸）（登録有形文化財）



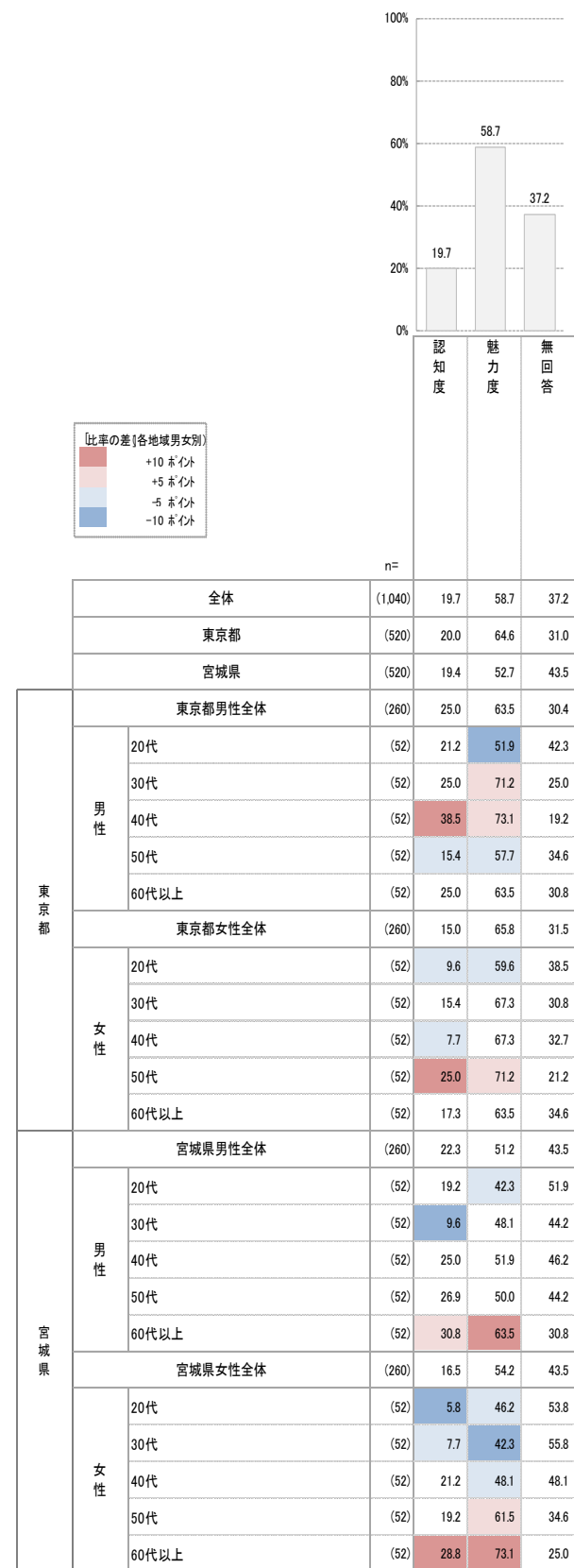
NQ6S11

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉家廟所（国指定史跡）



NQ6S12

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉本洛中・洛外図屏風（国宝）



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

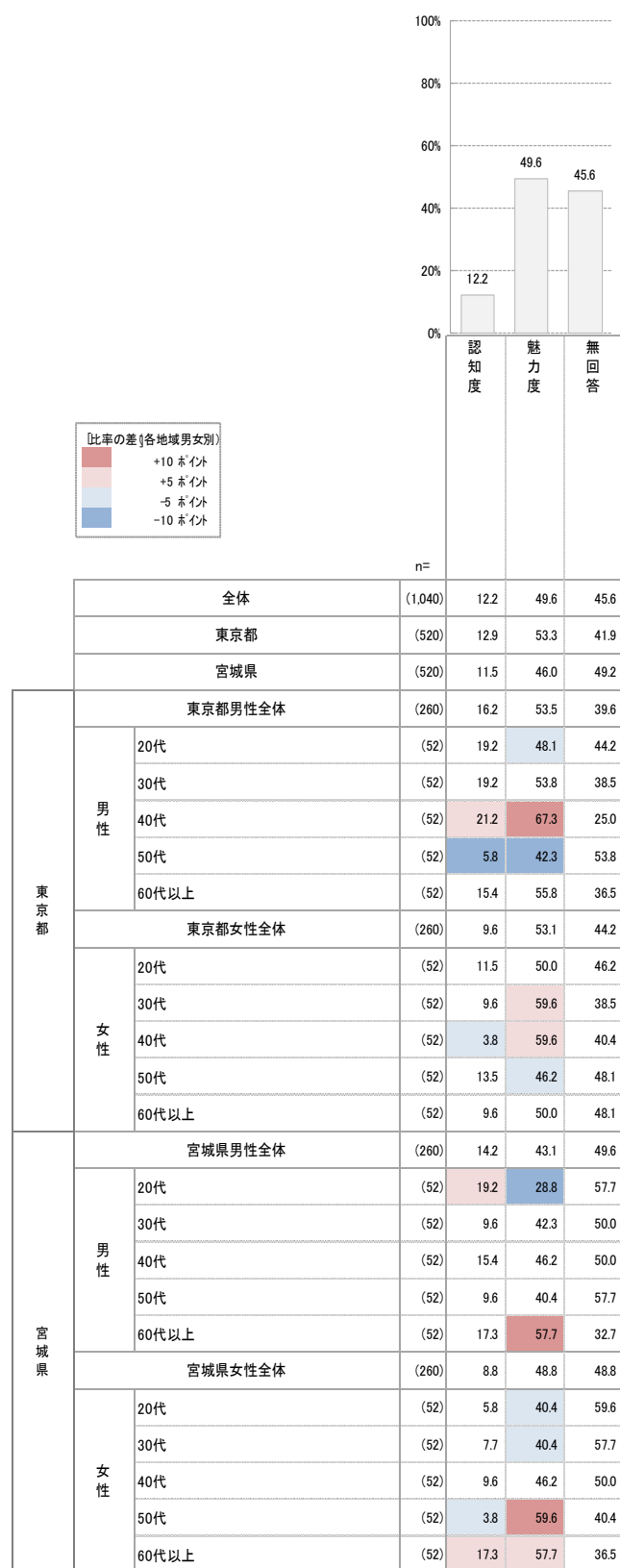
NQ6S13

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉家文書(国宝)



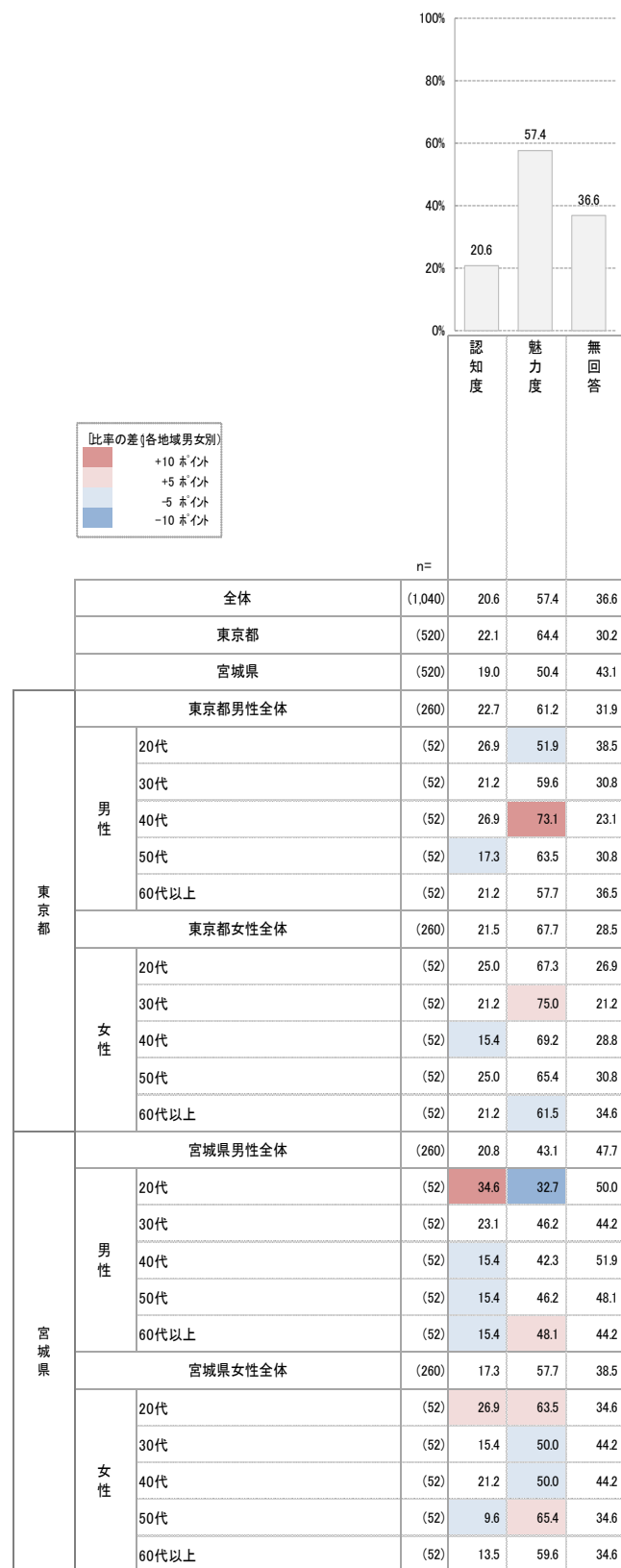
NQ6S14

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。宮坂考古館



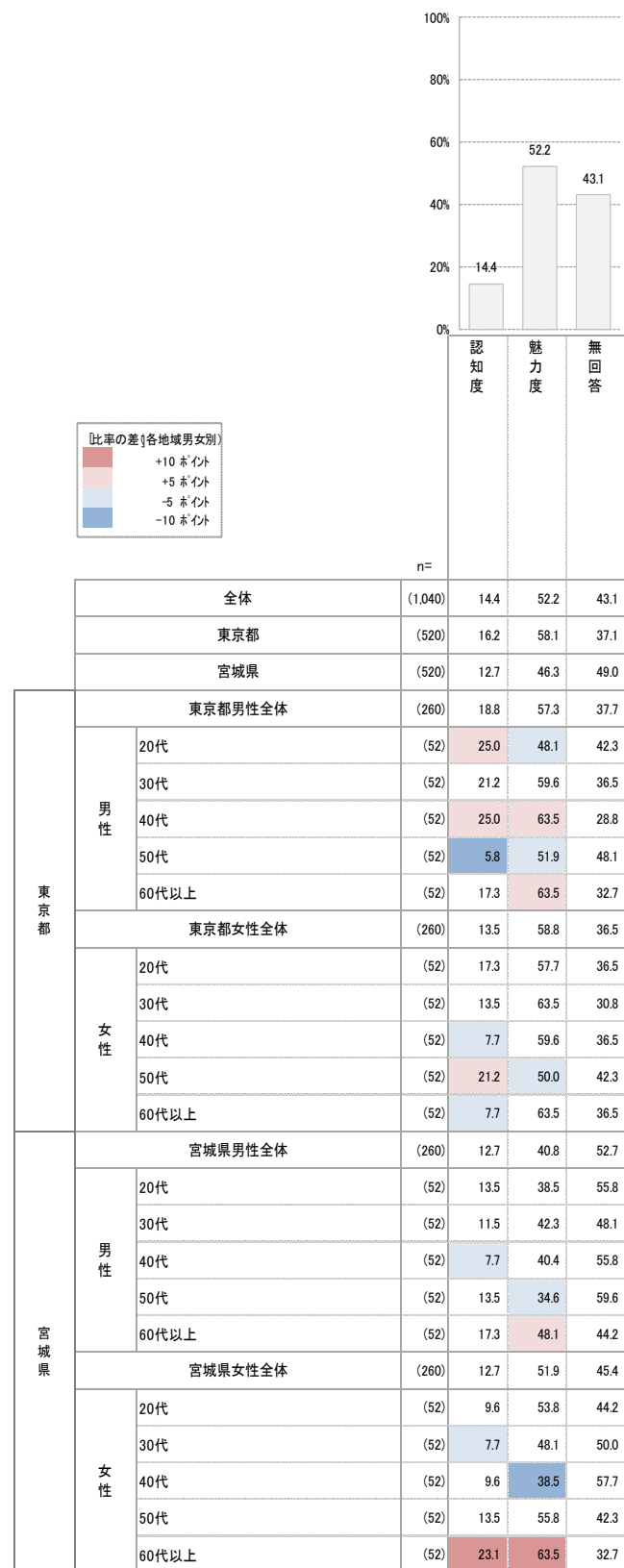
NQ6S15

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。愛宕神社



NQ6S16

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。兜山



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

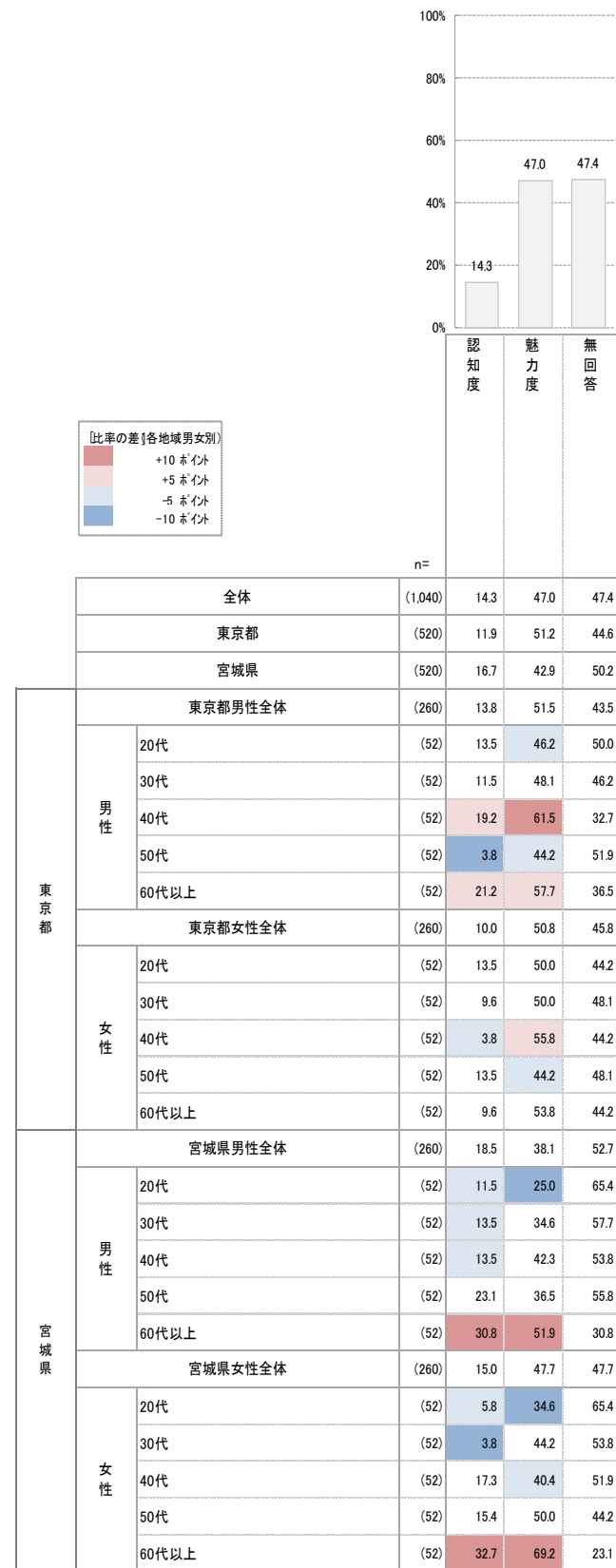
NQ6S17

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。刀剣



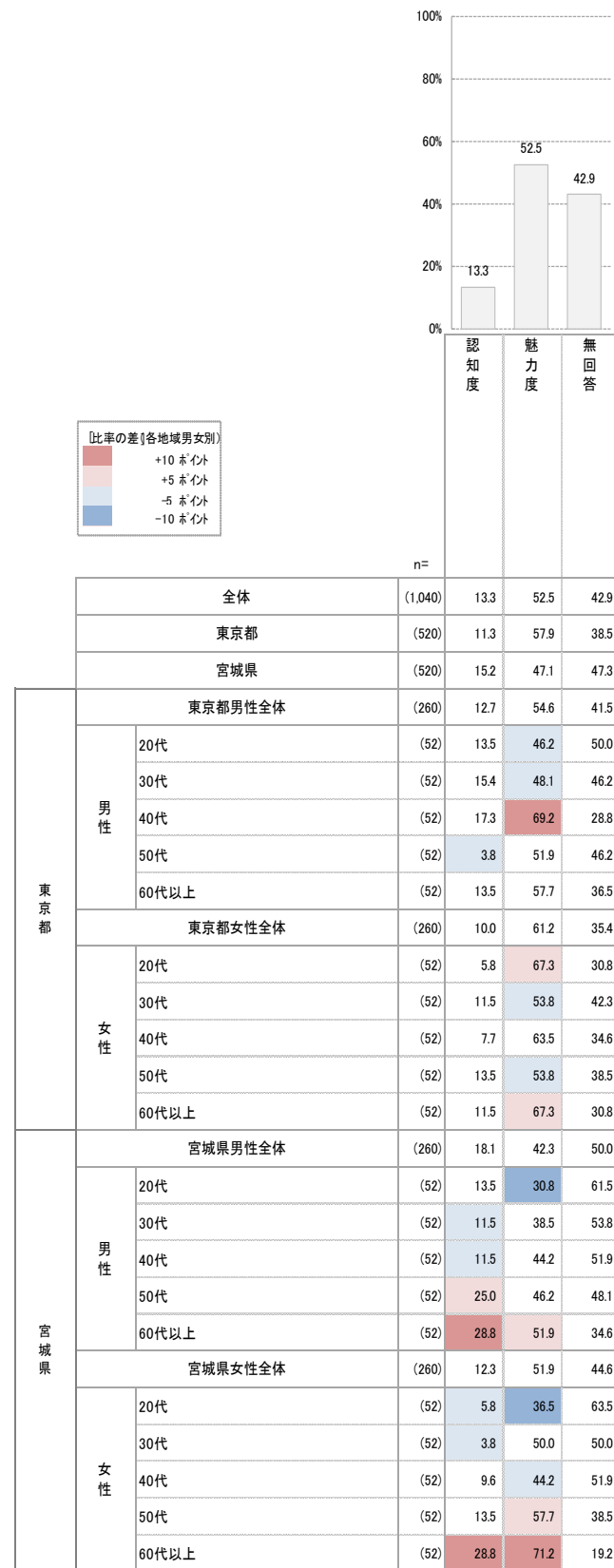
NQ6S18

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米織歴史資料館



NQ6S19

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。武家屋敷・うこぎ生垣



NQ6S20

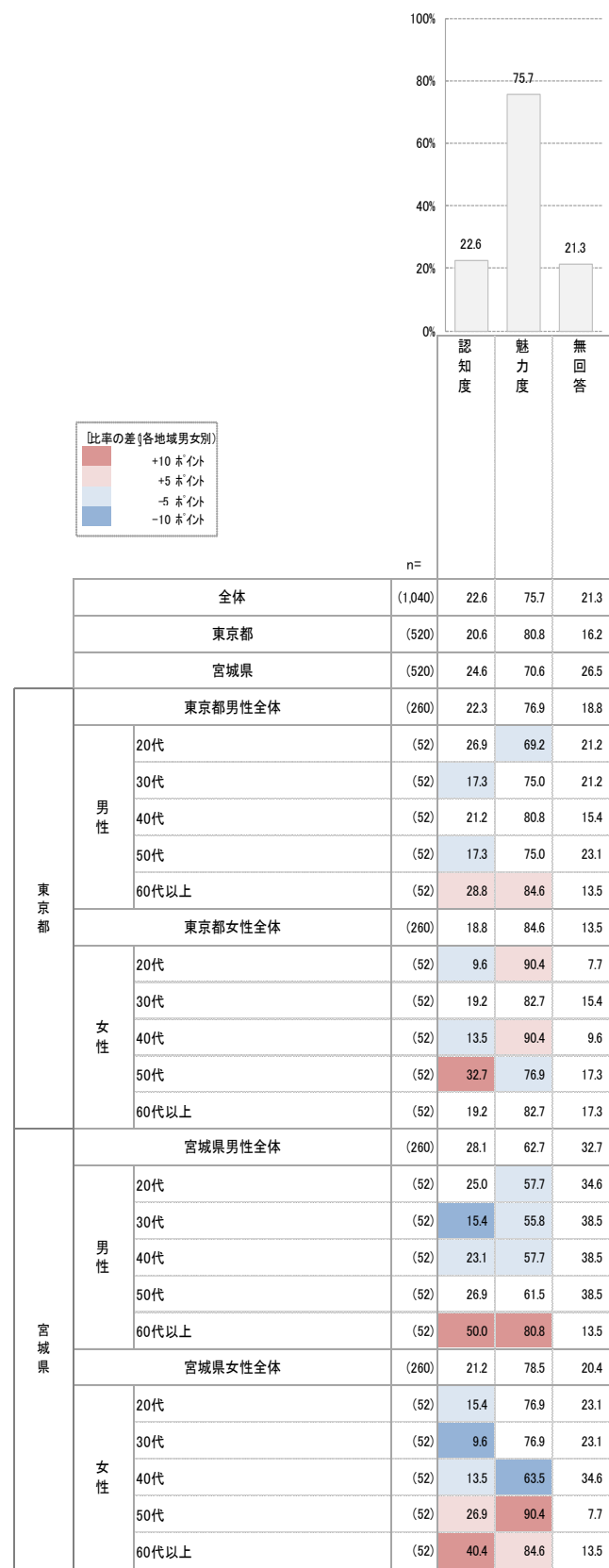
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。旧米沢高等工業学校本館(山形大学工学部)(国の重要文化財)



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

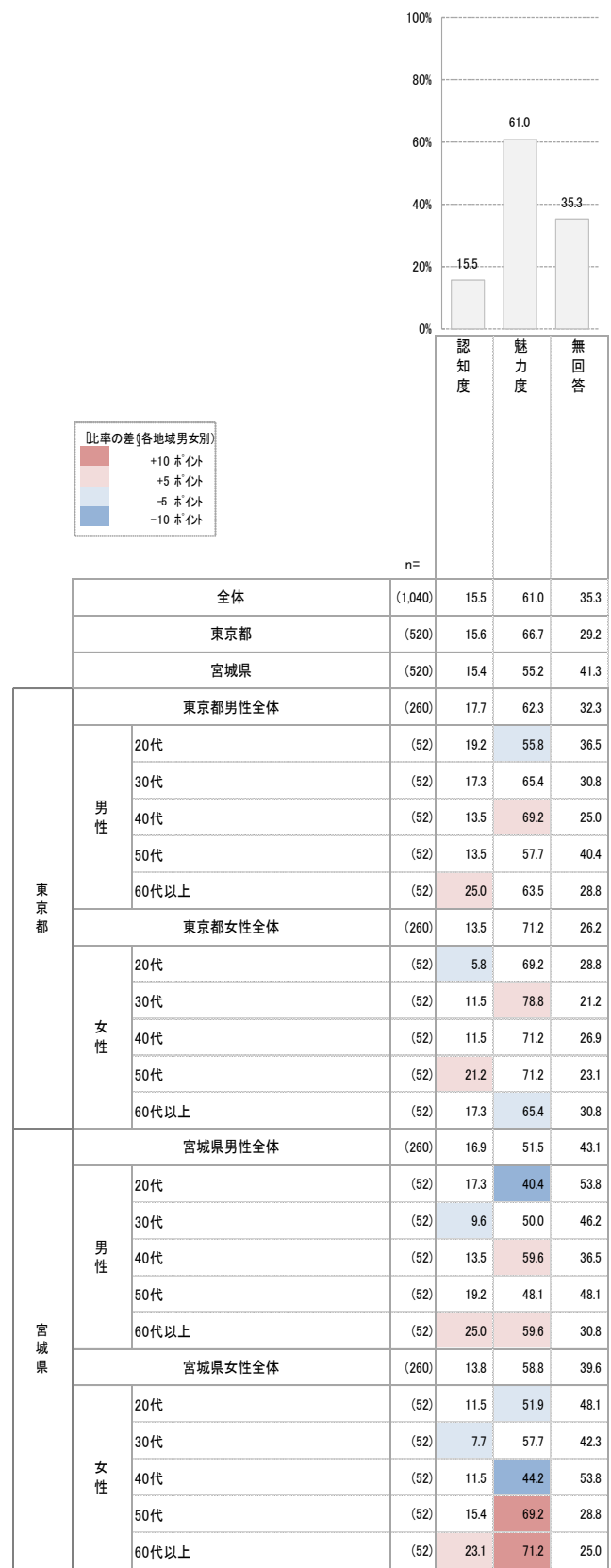
NQ6S21

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢八湯



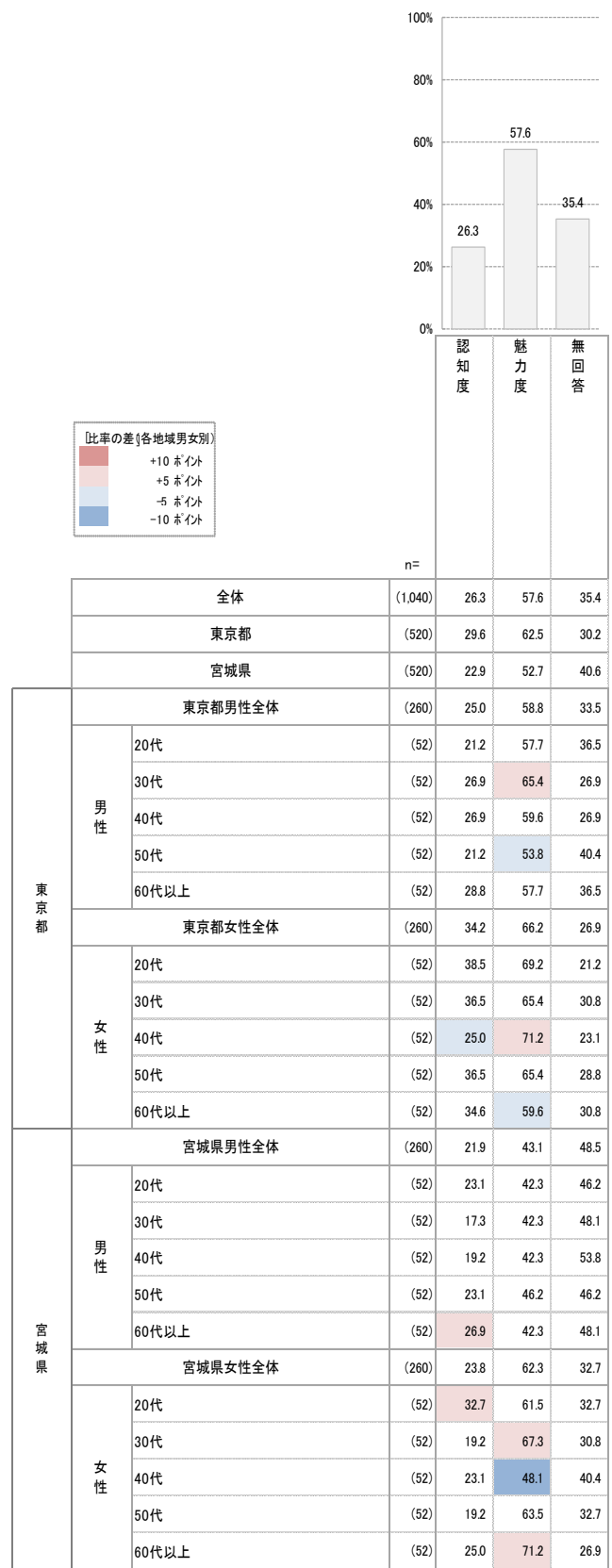
NQ6S22

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。酒造資料館・東光の酒蔵



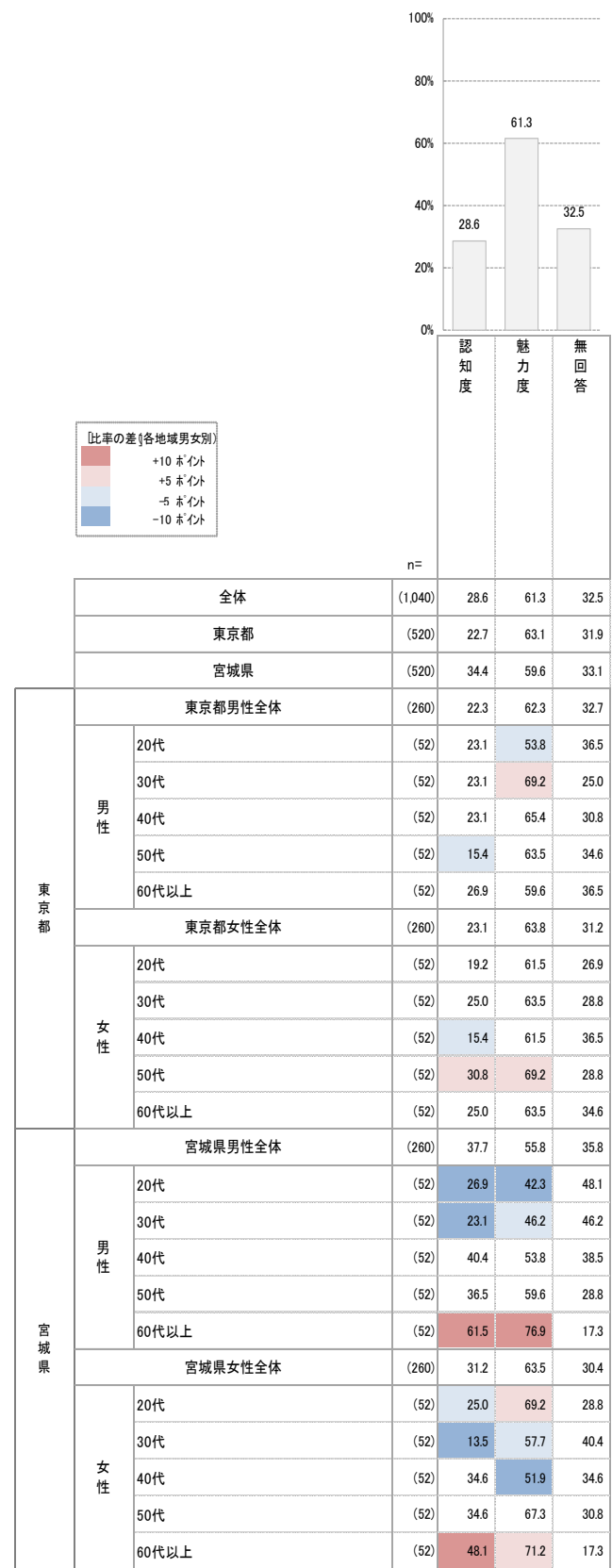
NQ6S23

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。田んぼアート



NQ6S24

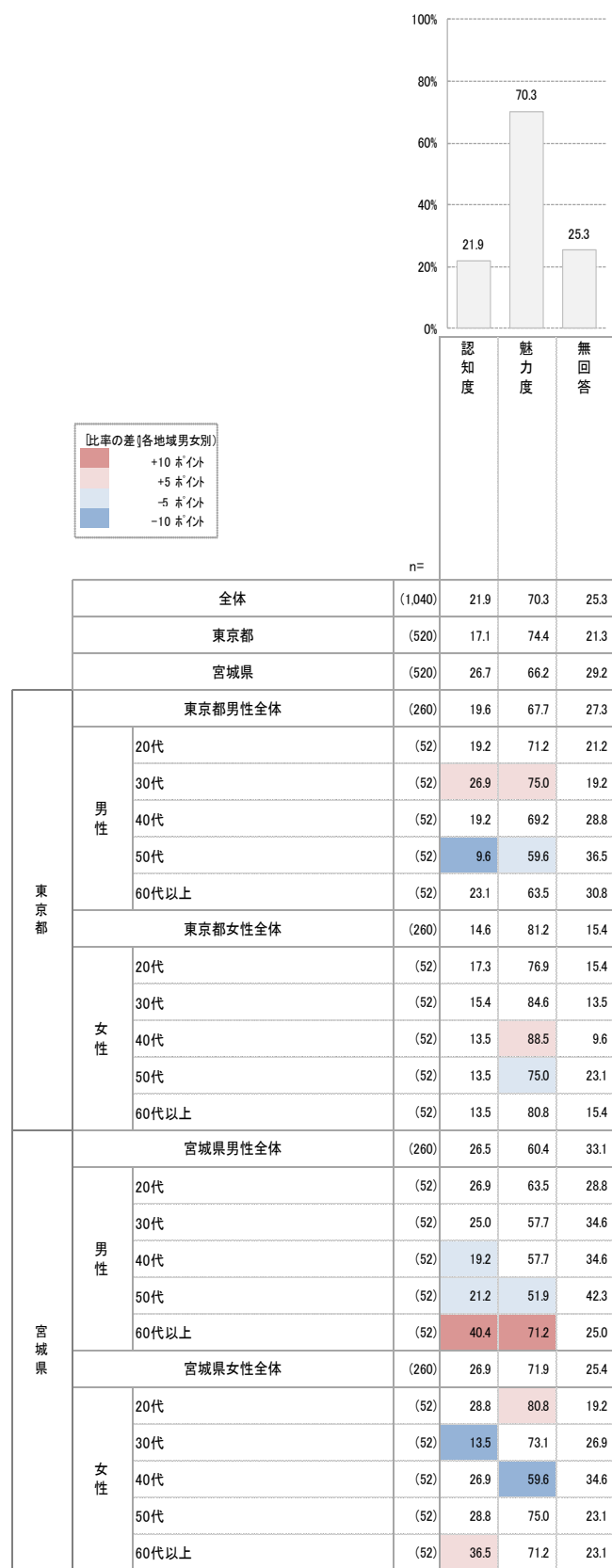
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢上杉まつり



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

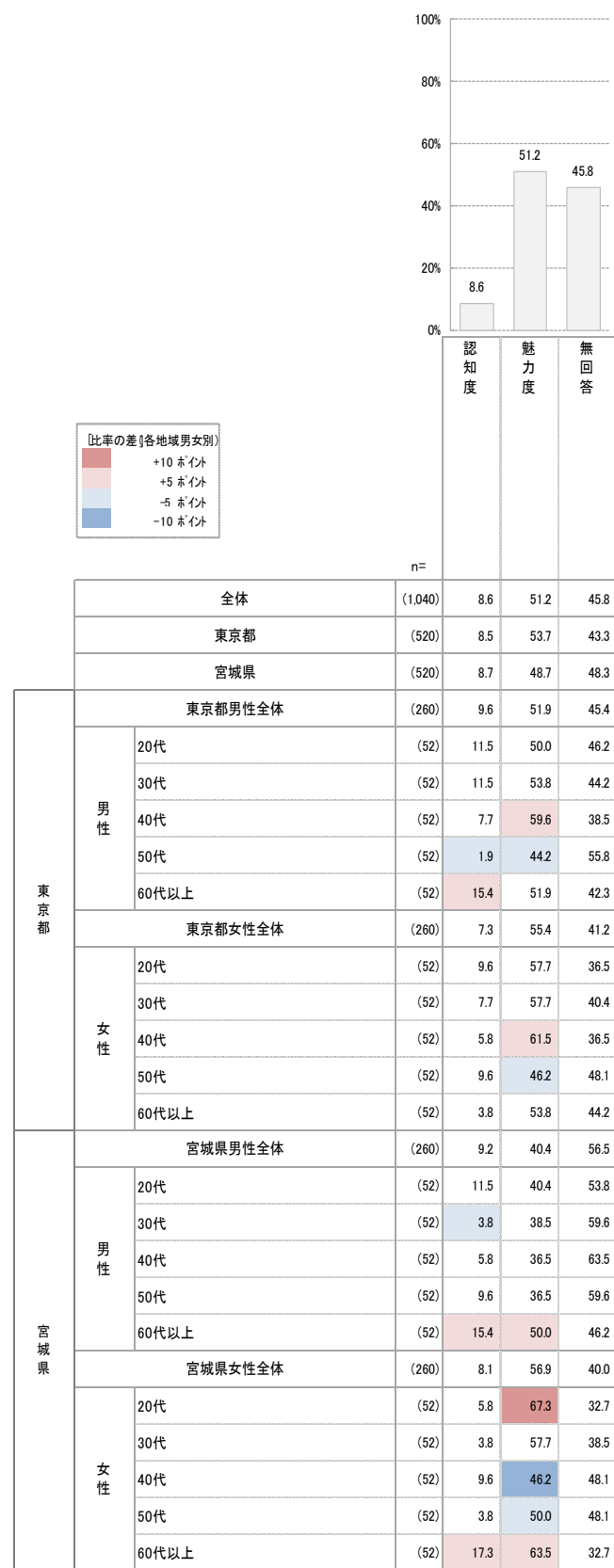
NQ6S25

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉雪灯籠まつり



NQ6S26

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。なせばなる秋まつり



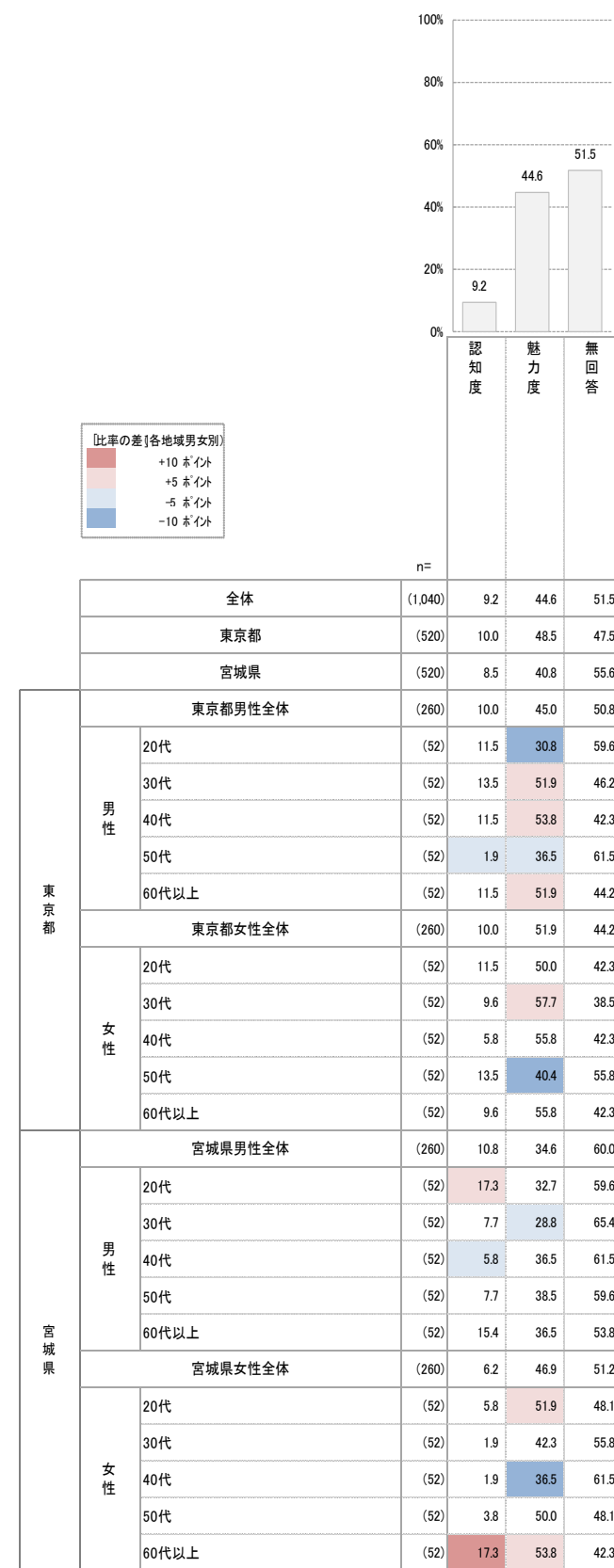
NQ6S27

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢牛肉まつり



NQ6S28

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。梓山獅子踊り



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S29

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。愛宕の火祭り



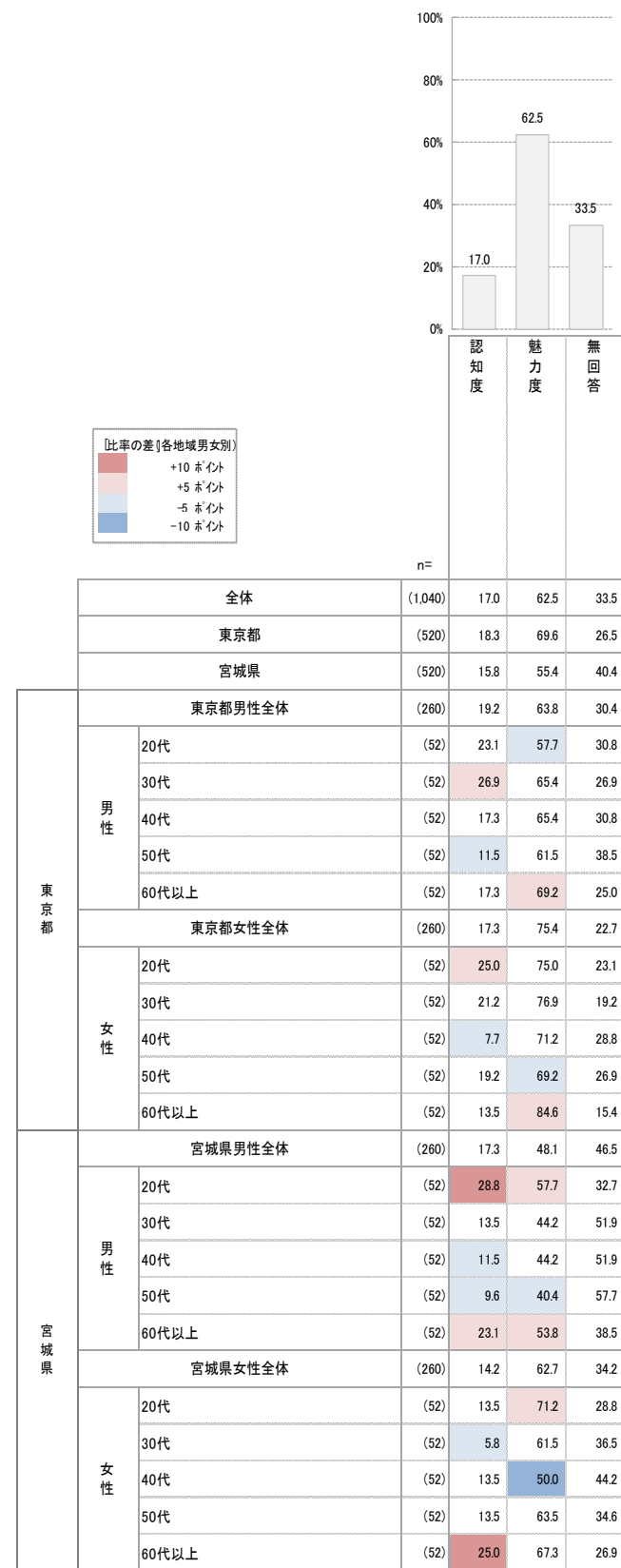
NQ6S30

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。小野川温泉・ほたるまつり



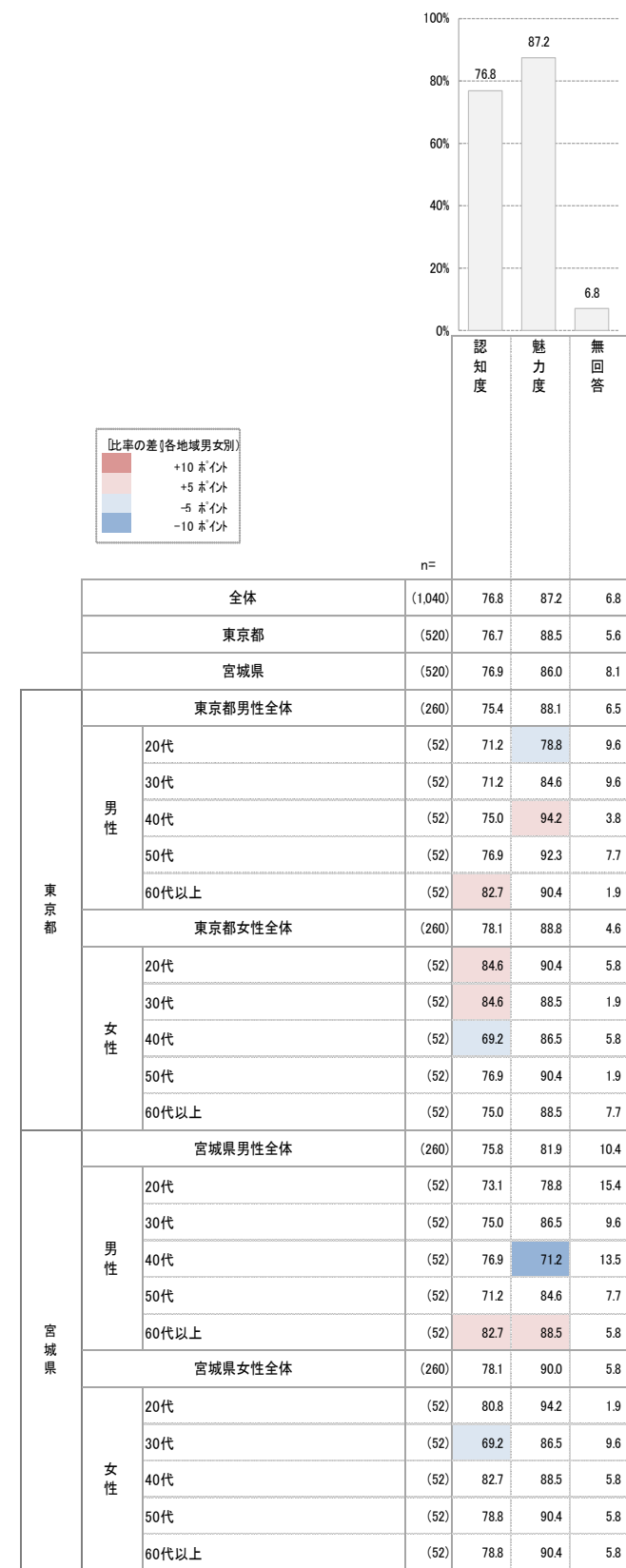
NQ6S31

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。館山りんご



NQ6S32

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢牛



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S33

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢鯉



NQ6S34

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢伝統野菜



NQ6S35

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。酒



NQ6S36

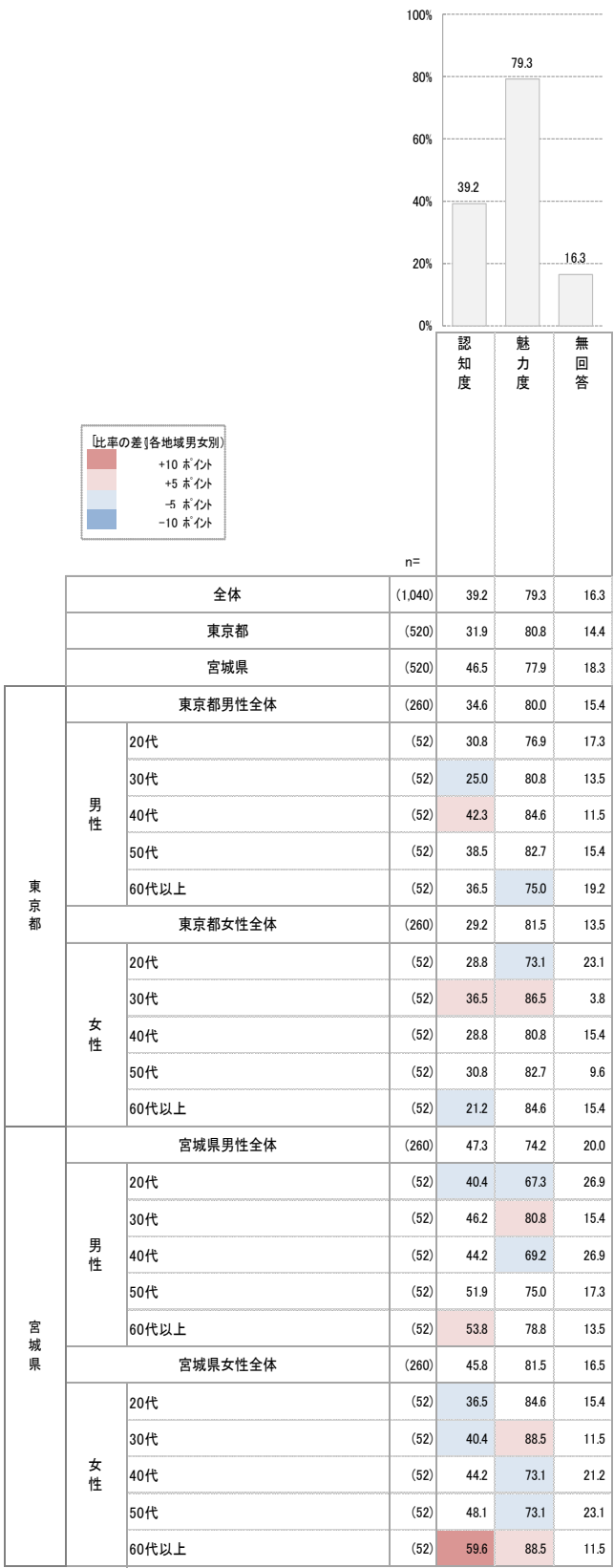
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢ラーメン



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

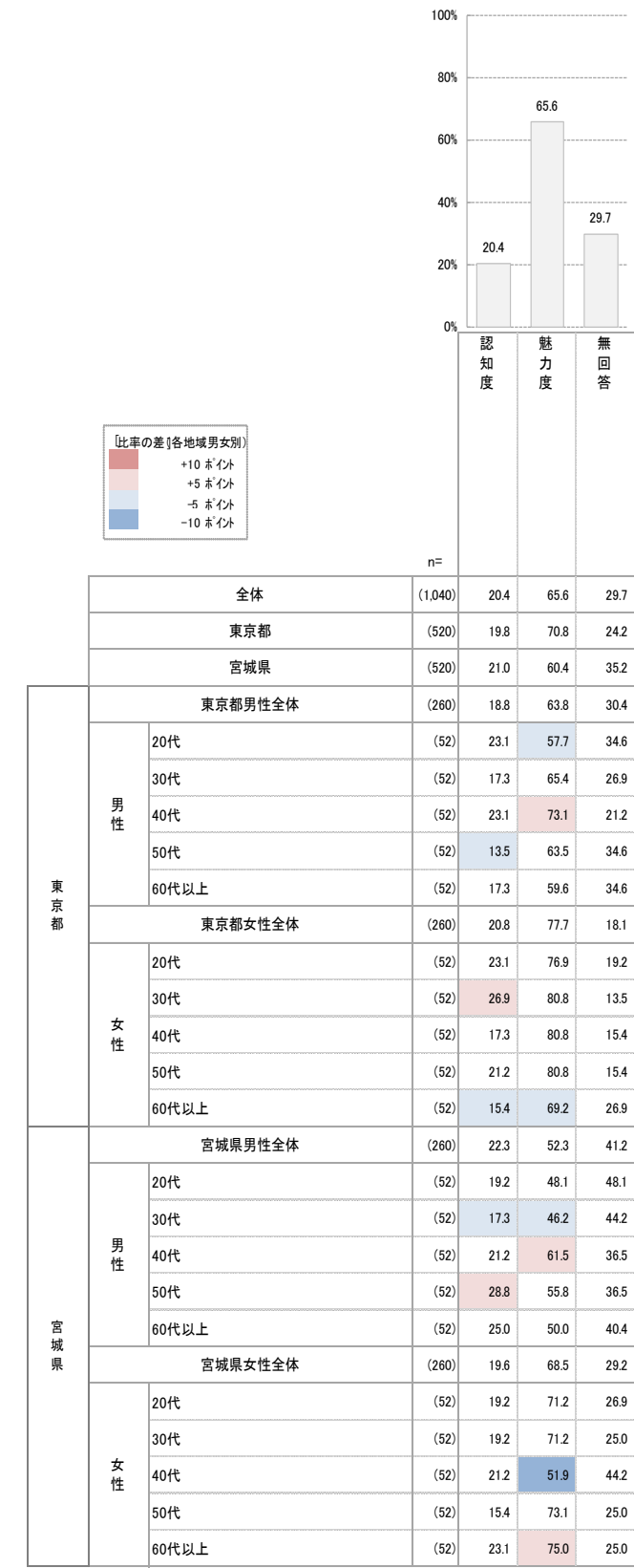
NQ6S37

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。そば



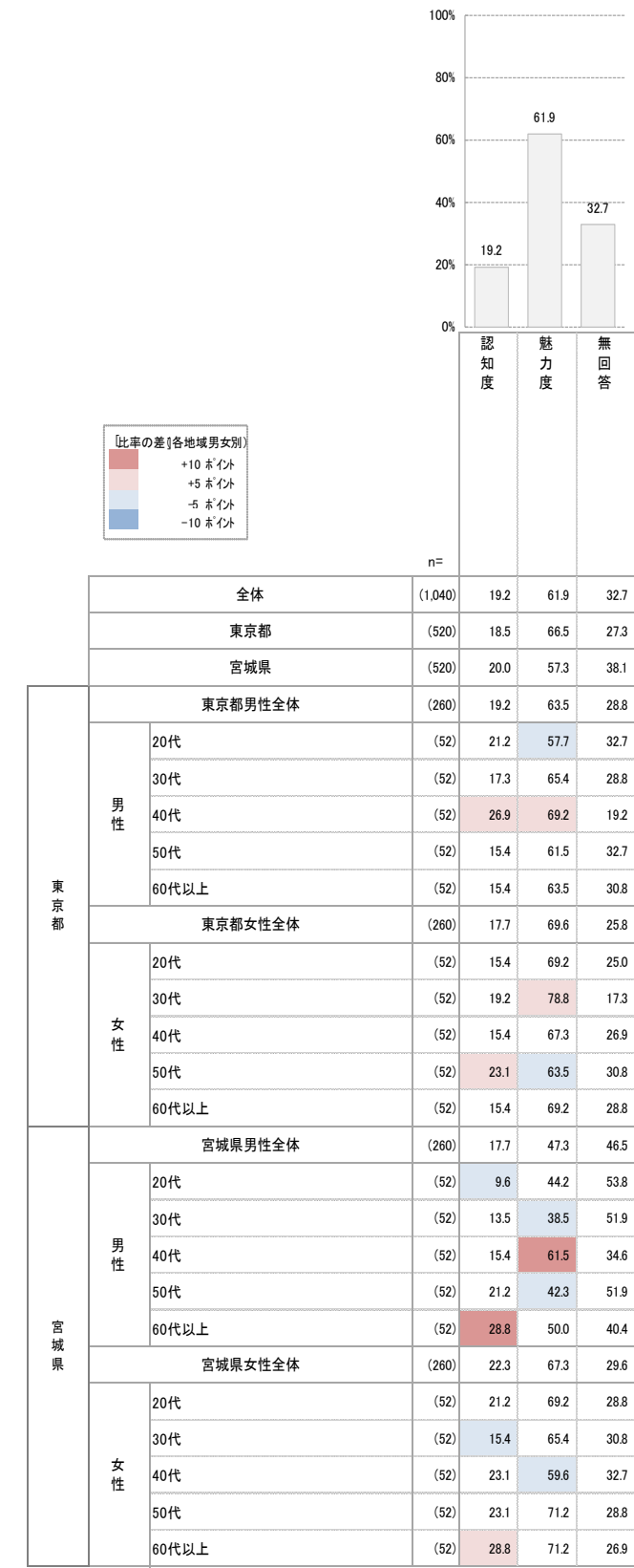
NQ6S38

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。醤油・味噌(醸造文化)



NQ6S39

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。雪割納豆



NQ6S40

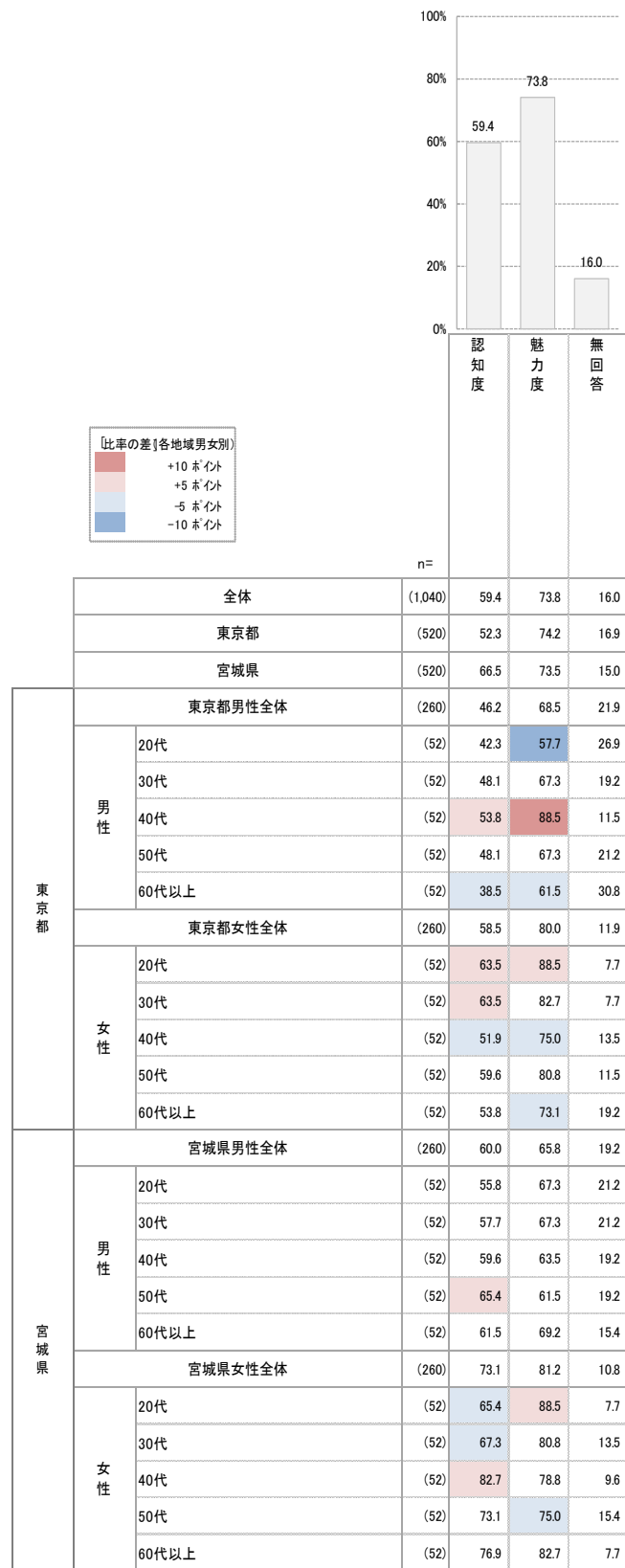
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。漬物



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S41

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。玉こんにゃく



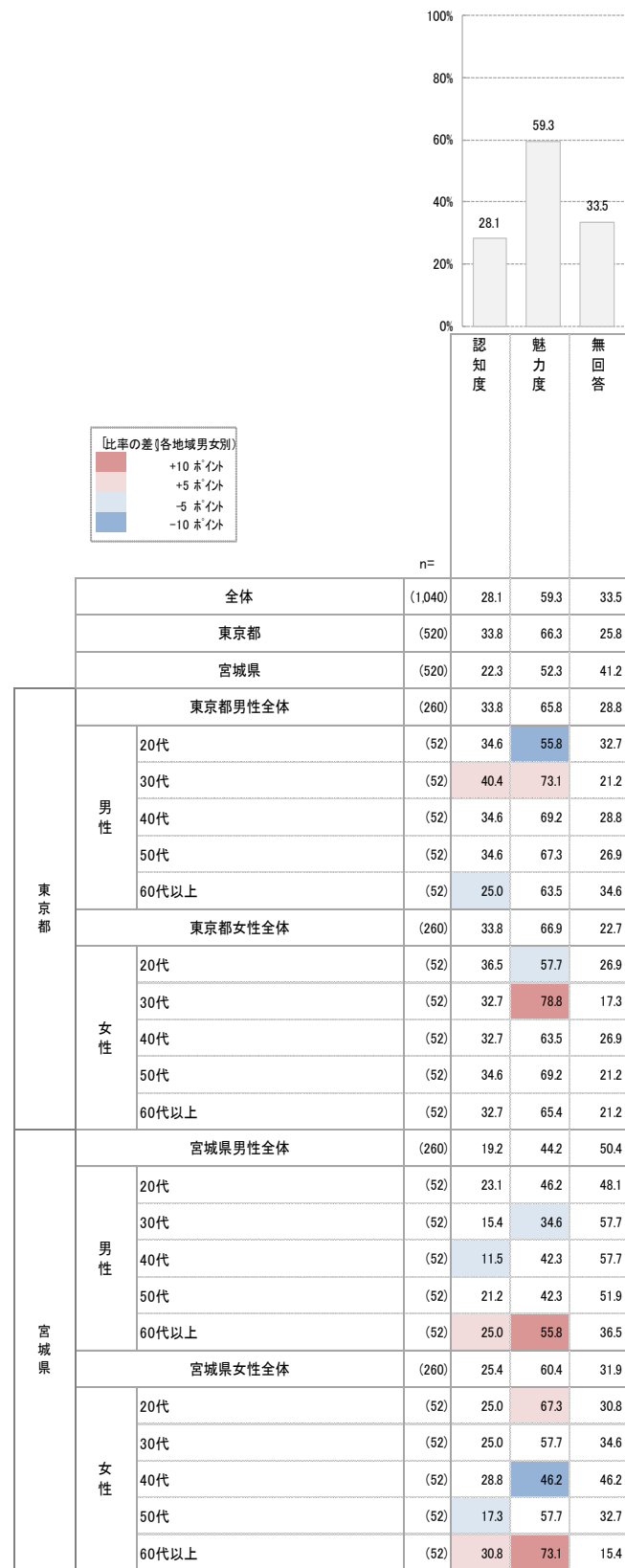
NQ6S42

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。時雨の松



NQ6S43

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。冷や汁



NQ6S44

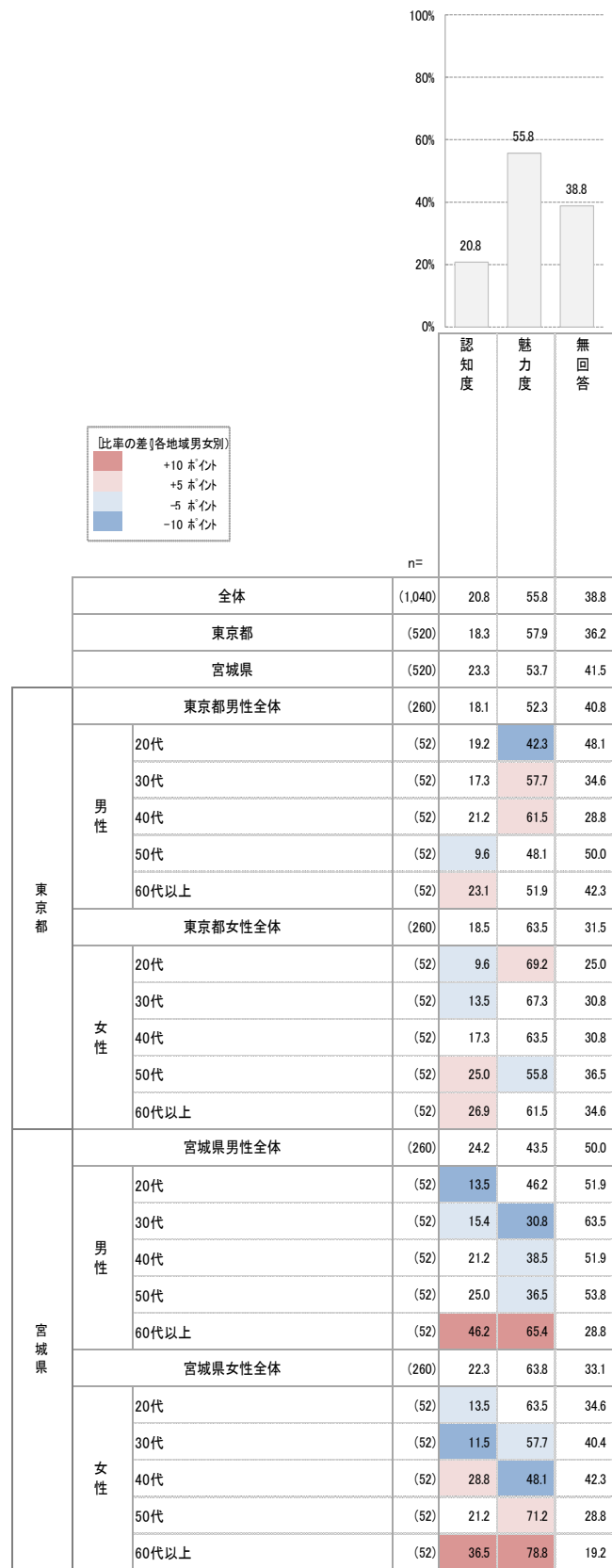
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。いも煮



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S45

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢織



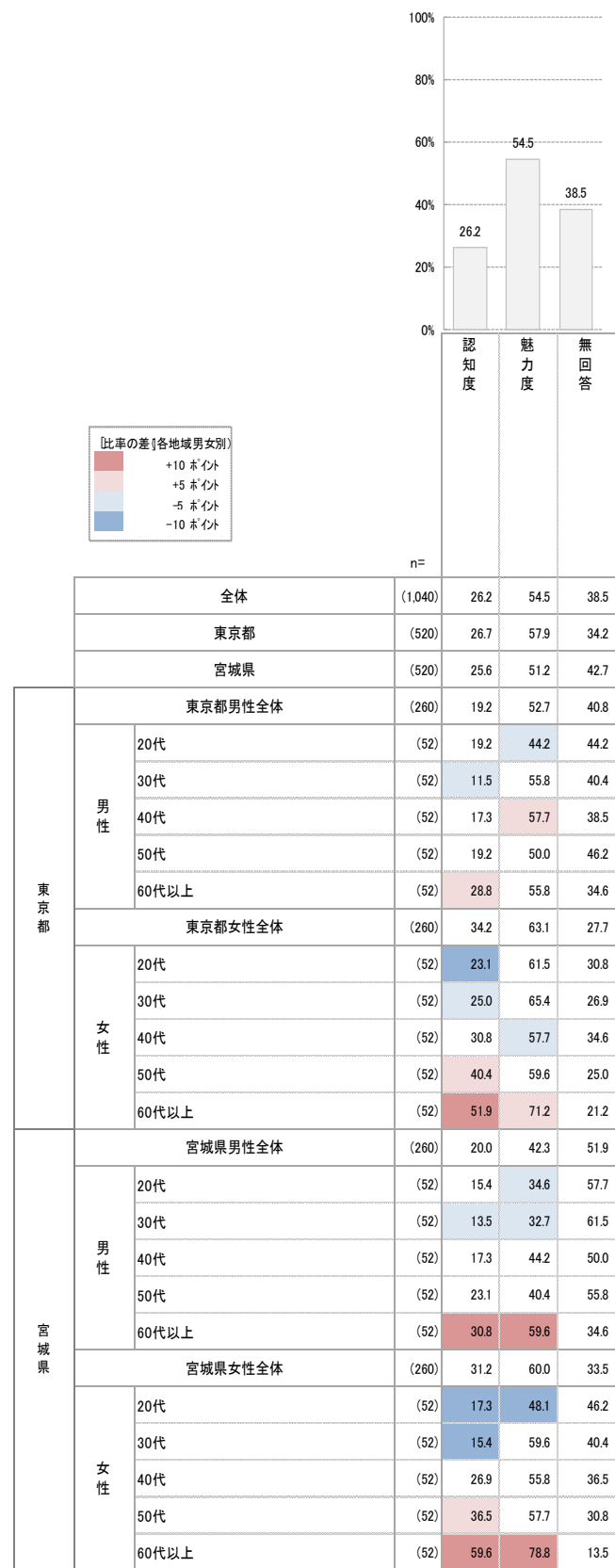
NQ6S46

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。笹野一刀彫



NQ6S47

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。刺し子



NQ6S48

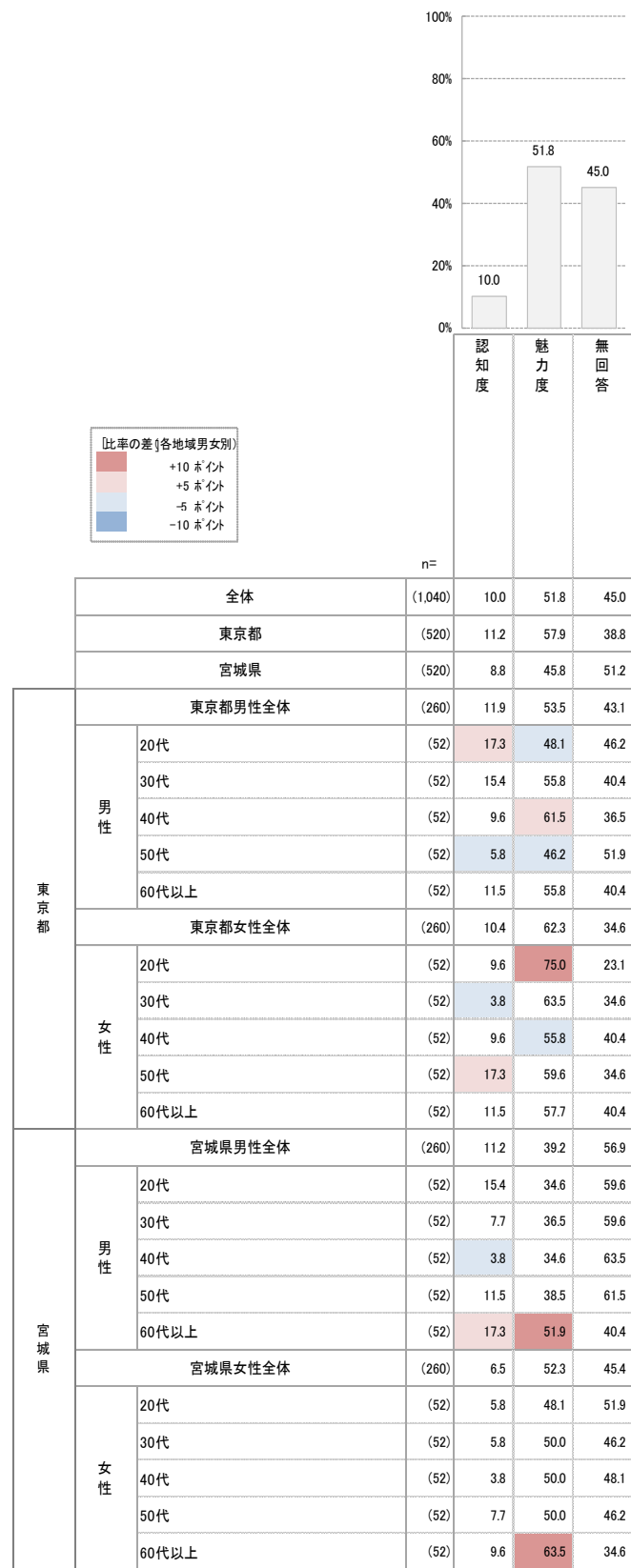
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。米沢焼



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

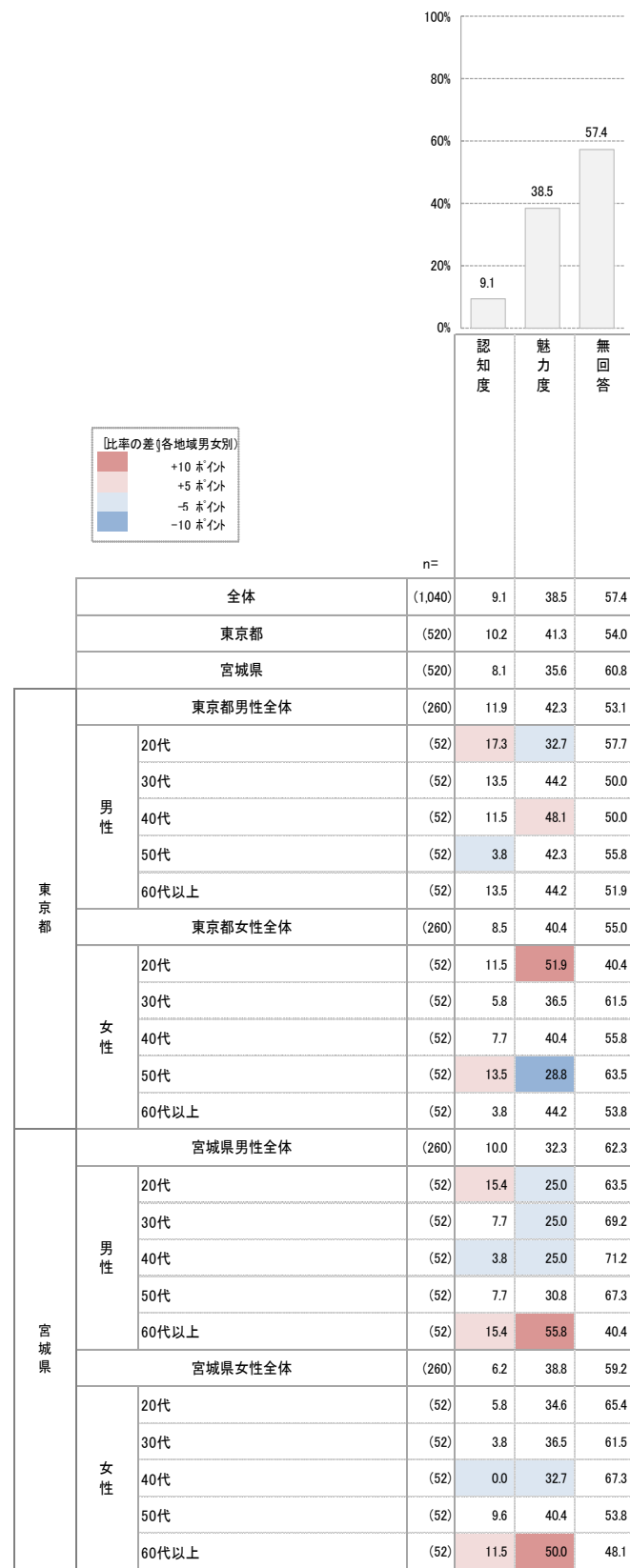
NQ6S49

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。成島焼



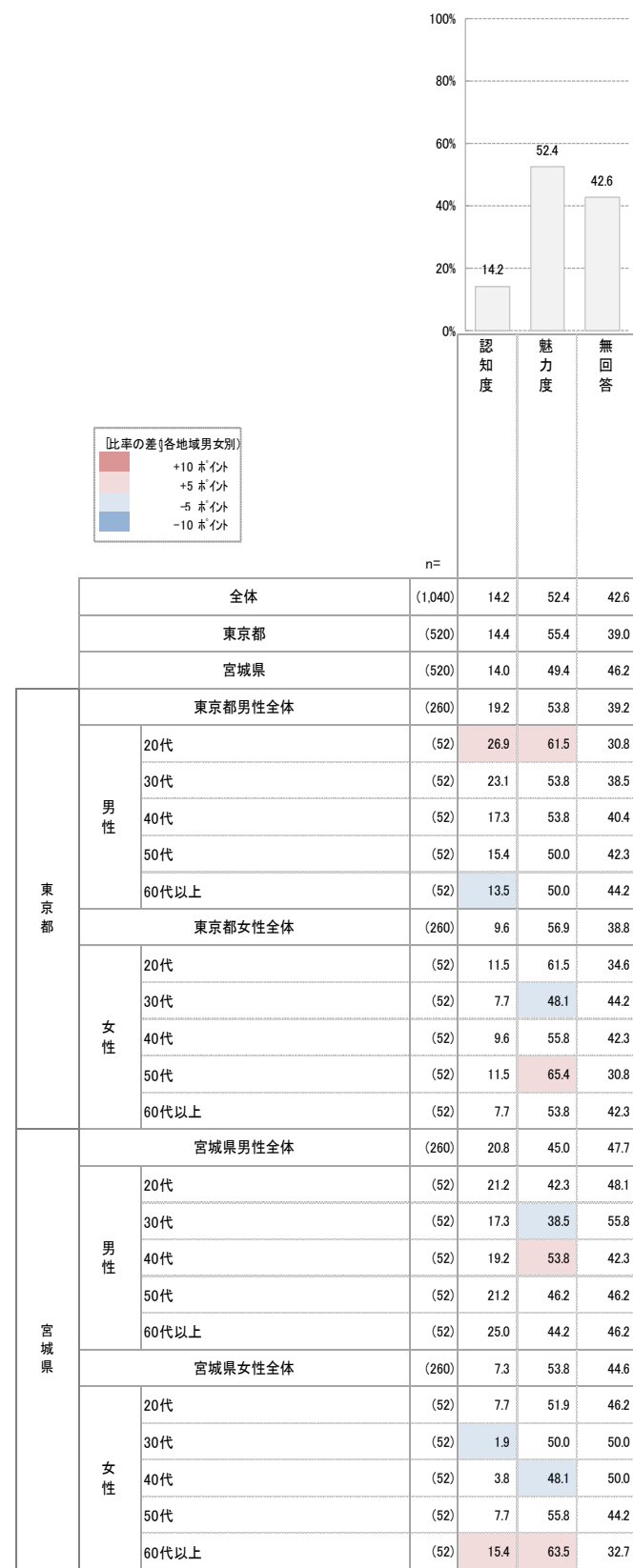
NQ6S50

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。相良人形



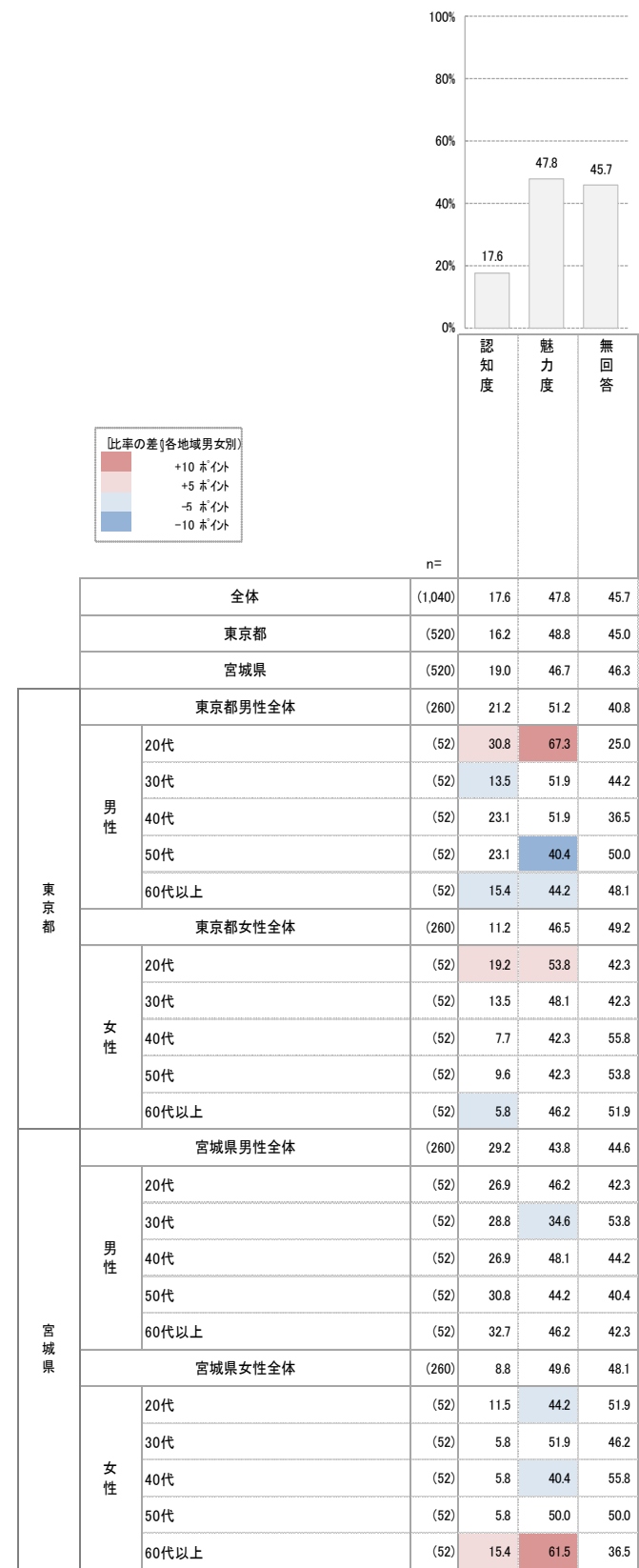
NQ6S51

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。有機EL



NQ6S52

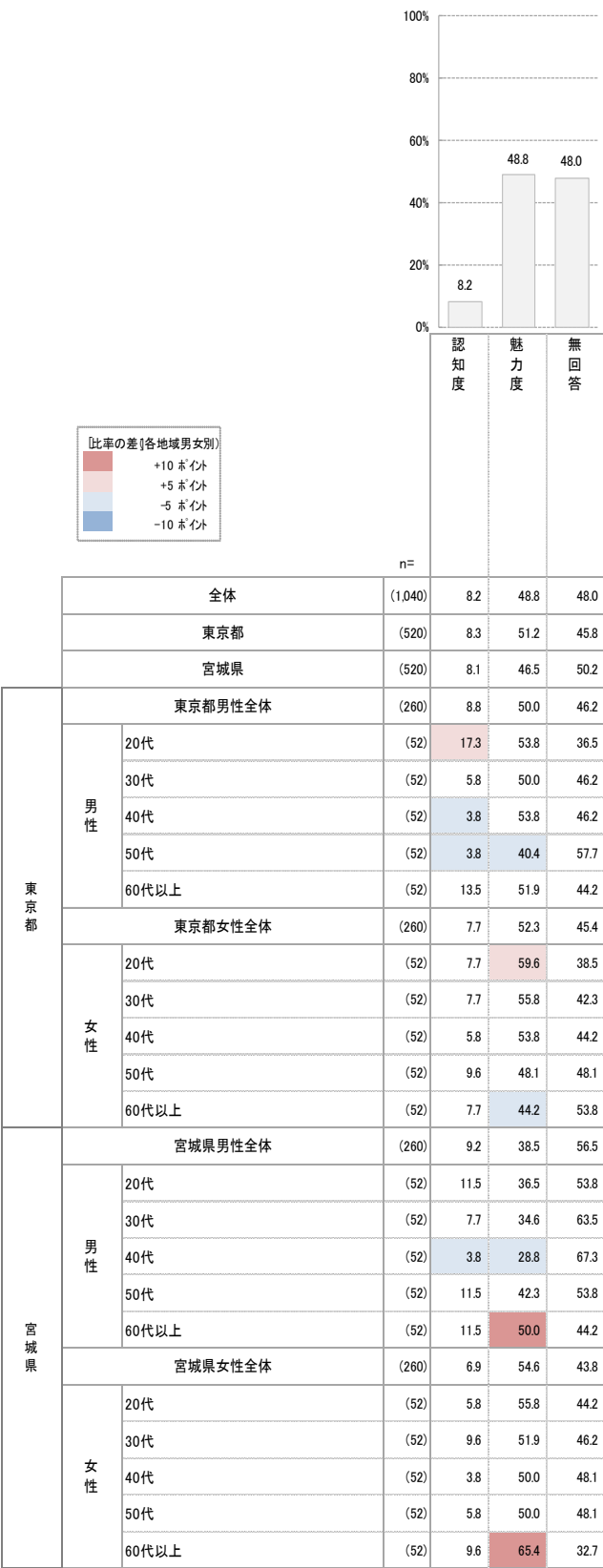
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。パソコン



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S53

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。もくろっく



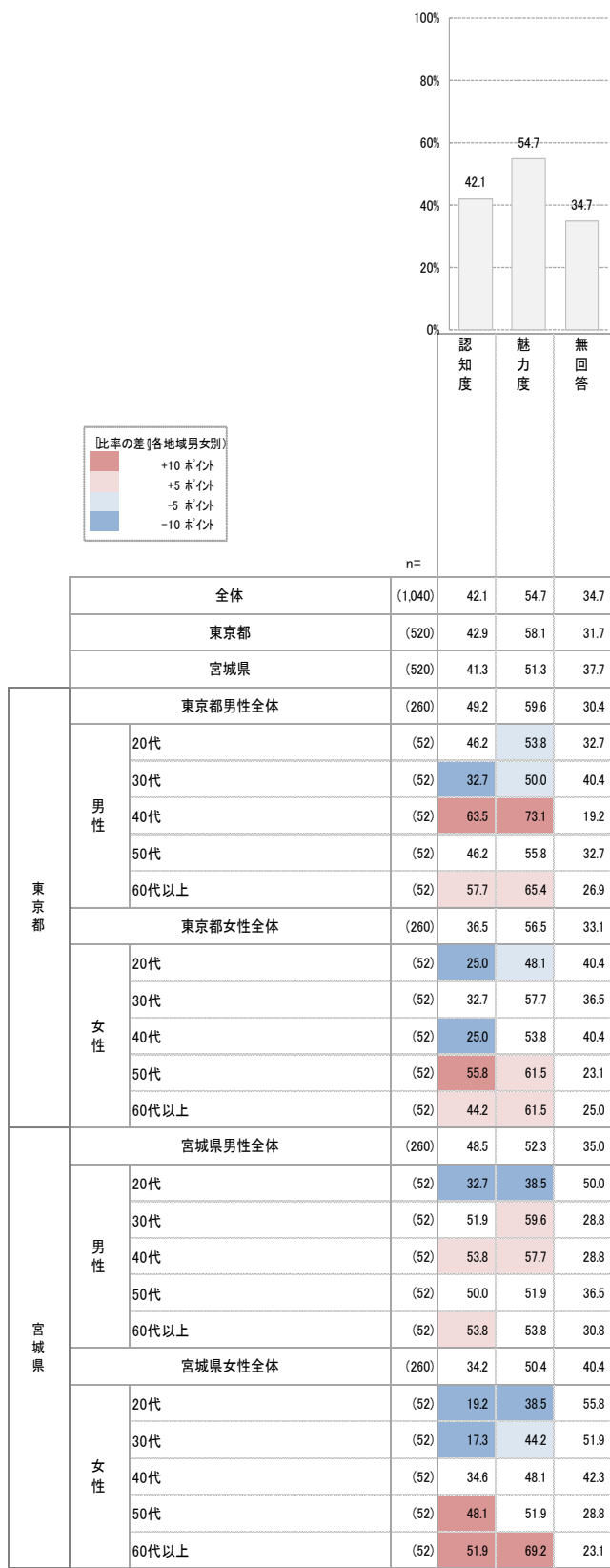
NQ6S54

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉 鷹山



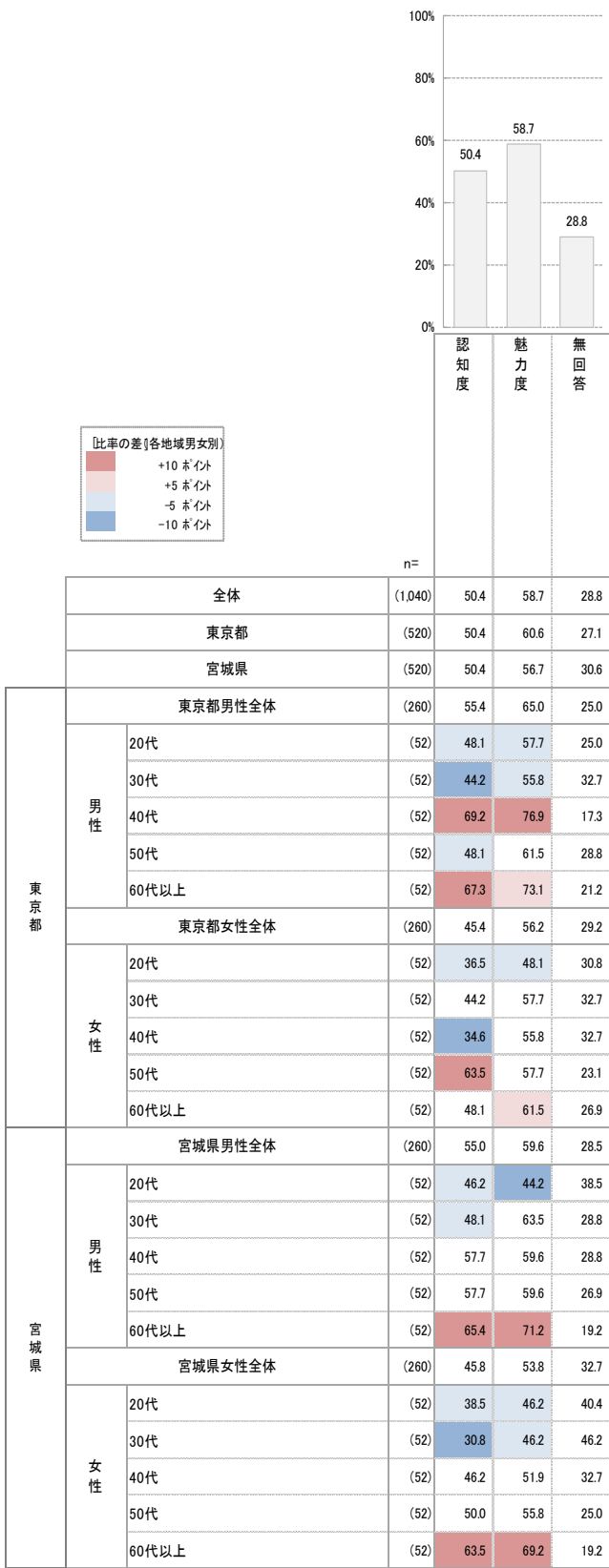
NQ6S55

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。上杉景勝



NQ6S56

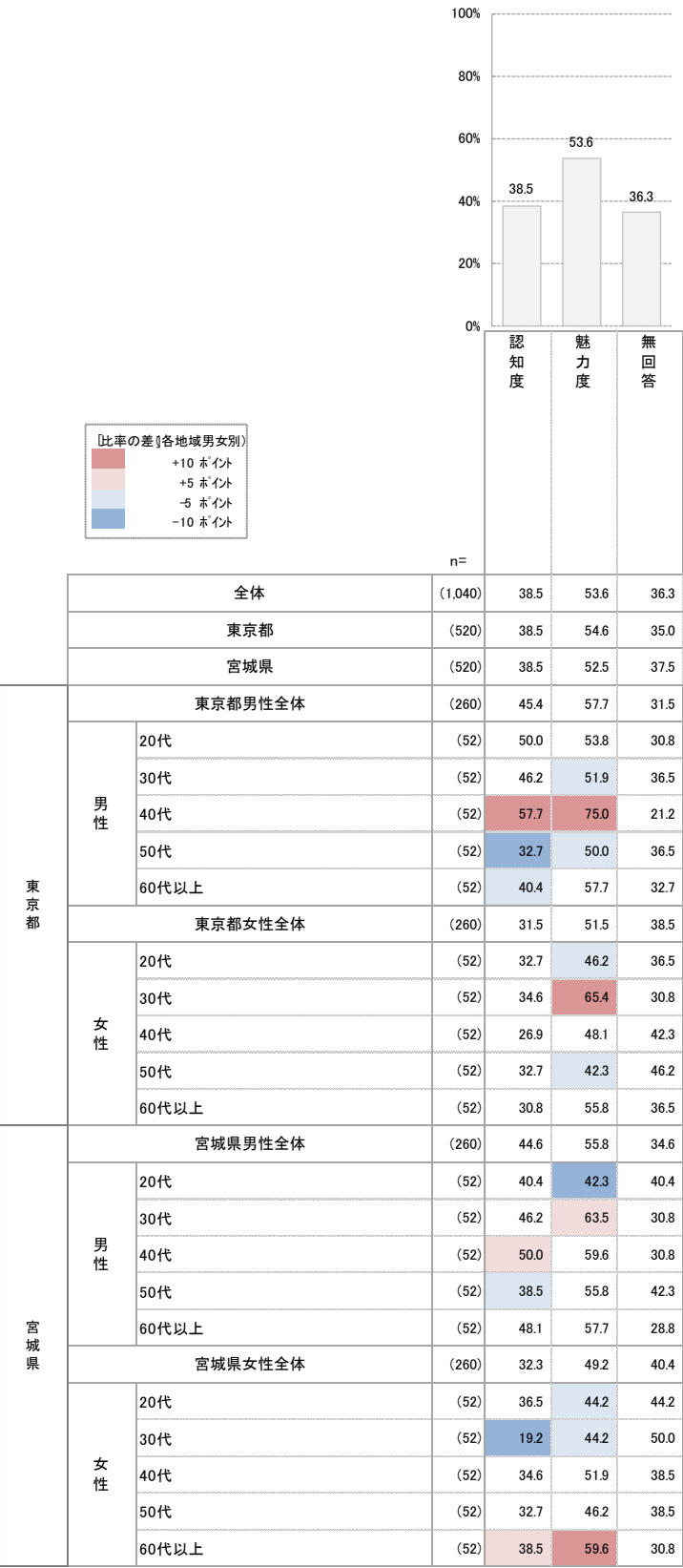
米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。直江 兼続



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

NQ6S57

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。前田 慶次



NQ6S58

米沢市の地域資源について、知っているかどうか、魅力があるかどうかについて、それぞれ回答してください。山形・郷土芸能本舗「民謡一家」



注：セルの色については、個別の傾向を見るために、それぞれの地域の男女別内において比較を行っている。

②主な自由意見（抜粋）

■観光・交通に関する意見

- ・先週、行ってきたばかりですが、無料の駐車場といい観光しやすく長く滞在できました。駅の観光案内所がもっと聞きやすい感じだと嬉しいです。
 - ・交通の便が良くなり時間が掛からなくなったらよい。又観光地間の案内を判りやすく掲示する。地元の人には判っている事でも偶にいく場合不便である。
 - ・特別なものは必要ないが、市内観光バスがあると良い。
 - ・名所旧跡、観光地を移動が楽にできる交通機関が用意されていること
 - ・正直米沢市は、何県かぱっと出てこないの、山形米沢市とつけてPRしてもいいかと思う。
 - ・基本旅行に行くのは、目的地があるが、その前の道中や帰路も旅行なので、そこにくままでに他の観光地があるところを探すので、アウトレットとか商業施設、日本最大級の産直などのスポットを作ればいいのでは、と感じた。
 - ・自然に関する観光地のモデルコースと、そこで触れられる体験・食べ物などがまとまった施設
 - ・それぞれの観光地へのアクセス手順を追ったサービス
 - ・一日で主要な観光地を見学出来るよう、観光用のバスが巡回していると便利だと思う。
 - ・あくまでも自然体で人工的ではない観光サービス
 - ・観光ガイドで案内されたい
 - ・知らない観光地も多々あるようなのでホームページ等でアピールして下さい！
- 行く先々で手軽に利用できる観光案内所（もちろん分かりやすい場所に）があると便利だと思う。また駐車場探しに苦労するので、駐車場マップがあると良いと思う。パンフレット入手に苦労するので、配布場所を増やして欲しい。県内だけではなく、県外にも配布してみても？隣県や姉妹都市などに配布するのも良いと思う。
- ・米沢の観光地を巡ることのできるパッケージのバスツアー
 - ・駅から市街地までの道がわかりにくいので観光案内の充実
 - ・今の観光資源で十分だと思いますが、もっとPRしてほしいと思います。
 - ・あまり手を加えずそのままの米沢であってほしい。観光地化してカラフルちやほやするのは御免だ。
 - ・外国人向けの英語ガイド付き観光コース
 - ・今のままで良いと思うが、車で行くので駐車場のことぐらいかな！シャトルバスの活用を工夫したらどうでしょうか！県外から来る観光客の思いと環境を考慮した場所を、お願いいたします。お祭りの時は億劫になります。
 - ・東京からの直通観光バス
 - ・全般的に見せる工夫が足りない 興味の引くディスプレイが不可欠 上杉神社でも一度行けば二度行きたくない、重要な観光資源がそんなことではいけない。刺激的な展示を整備してはどうか。食べ物も工夫が足りない、飽きてしまう。そばとか健康食ブームな

のだから重点的に取り組んだらどうか。他地域の蕎麦の提示があってもいい。

- ・低価格観光クーポンの創設
- ・観光の目玉になるような食べ物を紹介してほしい
- ・秋田と福島しか行っていないが、東北は西のほうに比べて観光客への対応があか抜けておらず、よく言えば素朴だが、かゆいところに手が届かない印象がある。
- ・自然・景観を楽しむような観光地に、その景観等を壊さない程度に食事处やお土産屋などがまとまって入った小さな商業施設をつくるとよいと思う。
- ・観光地を公共交通機関を使って回る際、どうしたらいいかのルート提案など。
- ・観光案内所、観光地の割引券、主要な駅から無料で送迎してくれる旅館
- ・米沢市の美味しいものが1箇所ですべて食べられるようなお店がほしい。さらに詳しい観光地の紹介もあったらいい。
- ・観光名所のスタンプラリー。いろいろ回りたくなる為。
- ・足の悪いお年寄りを気遣ったバリアフリー観光
- ・旅行会社のツアーに組み込む等してもらえれば行きやすくなると思う。それに、他の観光地と違ってあまりPR等を見かけない気がする。
- ・良い場所や祭り等があるので、もっと積極的にツアーに組み込んで一度に大多数の人を少しの間だけでも土地に度々まわらせて知ってもらいたいと思う。
- ・豊富な観光資源があるので、まわりやすいように交通の便をよくすればもっと魅力的だと思う。
- ・米沢駅直通的のゆったりくつろげる長距離バス、八湯めぐりのパスポート、観光地を決まった数訪れると後日抽選で一泊旅行に招待あるいは産直品のプレゼント、市内バスの一日乗り放題バス。
- ・シャトルバスを観光コースで走らせてほしいです。車がなくてもシャトルバスで気軽に観光できたらよいと思います。
- ・観光地を順番に案内してくれるはとバスのようなものがあると便利だと思う（詳しい説明つき）
- ・鯉、牛肉が有名なので季節ごとの観光コースや、食を楽しめるコース案内があったら楽しめるのでは。
- ・夫の定年後、秋田・岩手・山形・宮城と東北地方を巡り歩きそれぞれの県での思い出は尽きません。山形観光地にも再度行きたいですね。
- ・目的もなくぶらぶらしても楽しい町並み作り。山形市の七日町のような再開発があればいいなと思います。
- ・一人で落ち着いて散歩できるようなところの宣伝！都会で疲れた人への癒しへ！！
- ・無料自転車
- ・週末限定で郊外、山間部方面への周遊バス運行。現状、一人&電車利用だと行動範囲が街中に限られるから。
- ・おおむね満足。だが冬は仙台と違い、とにかく寒くて雪が降る。移動が非常に不便で

つるつるの路面が怖い。よってもう少し交通・移動手段に考慮して頂けたらなと思う。

- ・レアなポケモンが出るポケモンの巣又はポケソース
- ・車で行きたいと思うので、車で行く場合のモデルプランと駐車場の位置があれば嬉しい。
- ・車がなくてもバスなどの公共機関で回れるガイドや周遊切符があればよいのですが・・・
- ・写真愛好家向けの撮影プランや季節ごとの旅行企画プランの提案があれば参考にした
- い
- ・米沢をアピールできる、アミューズメントパークなど、人が集まる施設があれば良いと思う。また、交通の便が良ければさらなる集客が望めると思う。
- ・個人客のためのモデルプラン・旬な情報などを織り込んだ HP による情報提供
- ・運転しない人にとって（レンタカーを借りる選択肢がない）、交通の便が悪く、タイムスケジュールが組みにくいのが地方に旅行するときを感じる事です。割安で車で回ってくれるツアーや、個人のガイド（同世代であったり、趣味が合う方）と旅行者を繋ぐ仲介サイトみたいなものがあればうれしい。
- ・便利な移動手段が車くらいしか思い当たらないので、短時間で便利な交通があれば（もしくは便利な移動手段を積極的に発信し周知されれば）行ってみても良いと思う
- ・市内の名所を効率よく回れるバス（循環運行していてどこからでも乗れるなど）いろいろな施設・店舗で使える割引クーポン
- ・交通の便がやや不便に感じるので車での移動がしやすいように駐車場を多くして無料になるような店舗との提携が有ると良い
- ・産直、地域のものが買えるところ。アンテナショップなど。
- ・色々見たり体験するところが多いようだが理想の一日コースなど何通りか提案コースがあれば嬉しい
- ・バスとホテルのセットとか列車とホテルのお得なセットとかあれば、行く機会があるかもしれない。

■イベントに関する意見

- ・米沢牛イベント
- ・イベントの充実と世界規模の PR 活動
- ・地元の人と交流できるイベント
- ・米沢の美味しいものを集めたイベントがあればよいと思う。
- ・体験などができるイベント
- ・郷土料理や特産物を使用したスイーツイベントがあると行きたい
- ・今どきの若い人も楽しめるようなイベント
- ・ラーメンとそばが同時に味わえるイベントを定期的に行う。
- ・目一杯真剣になれる催し。
- ・景品つきのスタンプラリー

- ・焼き物市
- ・大規模な祭り
- ・かまくらまつり
- ・米沢でミネラルショーをやるのだったらきつと行く。
- ・山形は宮城から近いイメージで、お祭り参加のため毎年行っていました。最近は残念ながらそのお祭りがなくなってしまい、山形に行く機会が減ってしまったので、何か面白いイベントがあったら是非行きたい。最近、婚活ツアーが地域ごとに流行っているのので、山形も温泉とからめて何かあったら面白いですね♪役場とか市で開催する婚活イベントは信頼あります♪

■家族・子連れに関する意見

- ・家族で楽しめる場所・宿泊施設
- ・家族連れ向けコース案内。
- ・子供連れにも楽しめるものがあると、家族で行ってみたい。
- ・米沢は冬は雪深い地域ですので、もっと家族でも行けて楽しめる事があれば行楽に出かけると思います。
- ・子どもも楽しめるレジャー施設
- ・子どもでも大人でも退屈せずに楽しめる体験型の施設。
- ・駅から近い、こだわりの宿があったら行きたい。車なしで子どもと2人での旅行になるので、駅近だとありがたい。のんびりしたいのでお部屋にはこだわりたい。
- ・子どもが自然と触れあえるアクティビティ。
- ・乳幼児がいても楽しむことができる施設。
- ・子供用の設備が充実している施設。
- ・子供と一緒に楽しめるクーポンなど割引や特典があるもの。
- ・子供が遊べるような施設と特産物が一緒になっている施設
- ・子供も楽しめる雪のテーマパーク的な
- ・以前訪ねたときと違い現在は子連れなので、子供が楽しめる施設も欲しい。
- ・子供が喜びそうな施設や体験ができる場所
- ・リンゴを使ったお菓子とか、ジュースとか子供も楽しめそうなものがあるといいと思います。そのほかに、新種の果物とか楽しめると、うれしいのですが。

■グルメに関する意見

- ・豊かな自然、歴史、グルメなど魅力を感じますが、もう少し目玉となる宿やご当地グルメがあると（もしくはもっとPRすると）より観光客が増えると思います。
- ・その場所でしか楽しめないグルメ。
- ・米沢のグルメを集約した施設
- ・米沢の街歩きやグルメのガイドマップがあるといいと思う

- ・グルメが堪能できる場所。
- ・歴史とグルメを押したものにすればよいと思う。
- ・色々な郷土の歴史がありそうなので、少し調べて興味があるものを探してみたい。グルメは楽しみ。
- ・上杉鷹山等の歴史上の偉人・武将の資料館と米沢牛などのご当地グルメが楽しめる複合施設
- ・市内の観光グルメを中心に、郊外の自然景勝地・名所を訪れたい。
- ・B級グルメ
- ・スイーツやグルメフェス
- ・バスでグルメ旅のプランがあれば魅力的だと思います
- ・お酒やグルメの大きなフェスがあれば行きたい！
- ・ドライブでも立ち寄りたい、手軽に食べられる米沢を代表とするグルメ
- ・グルメを食べた後その物をお土産として購入することが出来るお店が欲しい。
- ・担い手とコミュニケーションをとりながら体感できるグルメ・芸術が楽しめる。
- ・地方ならではの料理やグルメに力を入れていただければ、それを楽しみに行きたいと思う。また、歴史跡地などのめぐりツアーなどがあると魅力的に思う。
- ・新しい気軽に食べられるグルメ
- ・地元グルメを安価でたっぷり食べられる事
- ・寒い季節は、行きたくないので春秋の季節においしい食べ物が欲しい。
- ・サクランボ狩りのような現地の食べ物を食べたい
- ・米沢牛を使ったリーズナブルな食べ物。
- ・米沢牛や米沢ラーメンなど美味しい食べ物や特産品物販売など、大きなイベントがあれば行ってみたい。
- ・空気も景色もいいところで、静かに落ち着いて食事ができるような施設
- ・各名所が回れて食事也能するツアー
- ・たくさんのお見どころがあるので今のままで良いと思うが米沢牛を食べさせる食事処がもっと多くあると良いと思う
- ・牛肉が好きなので、食べ歩きツアーとか
- ・米沢牛がおいしく食べる店は多いが、芋煮を食べさせる店があまりないように思います。また、道案内がわかりにくかった。
- ・知名度の高い、例えば米沢牛を美味しく食べられるレストランや、地元だからこそ食べられる米沢牛の部位を提供するレストランなど、知名度の高さを利用して集客させ、米沢に人を来させ、さらにいかに長く滞在させるのかを工夫するとよいと思う
- ・芋煮の試食
- ・既存の商品・サービスの中で選択するのが現実的であり、これがあるからわざわざ行くというものではない。米沢牛が米沢でしか食べられないものなら、わざわざ出向く価値はあると思うが、実際には都会なら比較的容易に手に入ることから、それだけでは訴

求力に欠けるということ。

- ・米沢牛センターのような施設で米沢の郷土料理がすべて食べられるところ。
- ・歴史の体験と食の一体化施設
- ・郷土の名産を一か所で食べて飲める施設
- ・今のままでも十分魅力あると思うが、米沢牛を安く食べられるような企画があれば・・・
- ・地域のお祭りなどに参加してその地元のご飯などを食べられる行事があったらいいと思います。

・米沢牛！色んな種類の米沢牛料理が食べ比べ出来るスポットとかがあったら行ってみたい。

- ・手頃な価格で、様々な米沢牛の料理が食べられる施設があったらいいなと思う。
- ・地元のおばあちゃんたちがつくった、おふくろの味を食べられるお店がほしい！
- ・駅が寂しいです。米沢牛の魅力的な弁当(ステーキ肉使用)欲しい。牛肉ど真ん中だけでは…。登のような、リーズナブルに米沢牛を食べられるお店を増やしてください。天元台に犬と楽しめる施設を増やして欲しい。ドッグラン、カフェなど。
- ・米沢牛をいろんな食べ方で食べさせてくれるところがあればいいと思う。あと、漬物の漬け方体験

- ・酒蔵ツアー、米沢牛がおいしく食べられる旅館など
- ・もちろん米沢牛。その他、地元の食材を使ったフルコース
- ・自然を感じられるテーマパークで、ご当地のご飯も食べられるような施設
- ・美味しいランチが食べられてお洒落で可愛いお土産が買えるような場所(店?)があるといいのでは、と思います。
- ・テーマパーク的なものがあれば、尚よし。
- ・仙台からのアクセスが良ければ、行ってみたい。”
- ・雪のない季節に米沢牛の料理が食べたい
- ・物見遊山で行くのではないので(スケッチ旅行)高級でなくともほどほどの宿があればと思います。近年山の中で海辺の食材が多く出て来たりで、地元のものが一番うれしいですね

- ・私は甘いものが好きなので、米沢を代表するようなお菓子、米沢といえばコレというようなデザートやスイーツなどがあれば、米沢へ行く目的の一つとなるのではないかな。
- ・手打ちそば、果物狩り
- ・カフェに行ってみたい。
- ・米沢と言うとラーメンや牛肉等も有名だがサービスエリア等でもそばや冷汁の提供等宣伝してほしい

■温泉に関する意見

- ・名所、旧跡、温泉地を含めた観光バスがあるとよいと思います。また、名産を販売する道の駅のような店舗がもっとあればよいと思います。

- ・温泉宿泊・米沢ラーメン・米沢牛ははずせません
- ・JRを利用して、途中バスに乗り、ミステリーツアーとグルメを組み合わせたような企画があれば楽しいと思いますし、おいしいものを少しずつ楽しめる会席膳のランチがあったらいいと思います。1泊で温泉に泊まるようなものもよいですね
- ・米沢のお土産や温泉など、色々集めたモールのようなお店があったら嬉しい。
- ・十分魅力的なので思いつきません。寺社も温泉もグルメもそろっているのは素敵です。温泉に入って、米沢牛を満喫したい。あとは観光地にたまにある記念メダルがあると、きっかけにはなります。集めているので。
- ・個人的には温泉と美味しい料理があればそれでいい。風景を見るのに疲れて移動するのは嫌だ。
- ・新しい施設を作るというよりも、すでに多くの魅力ある無形・有形の財産があると思うので、それをより知ってもらうのが大事という気がします。上杉、食事、温泉が一度に楽しめるようなパッケージツアーなどがあれば良いと感じました。
- ・のんびり部屋で昼寝ができる格安温泉付きグルメツアーがあったらいいな
- ・観光できる見学コースと食事がおいしく取れるところ、また温泉でしょう。
- ・ハイキングなどの軽い運動ができた後、温泉に入れるコースなどあるとよい
- ・各分野に絞ったMAP（温泉、自然環境、ラーメン、米沢牛）などを分野別に
- ・温泉の源泉ツアーや山に入山しながらキノコや果実などの収穫体験ツアーなどの豊かな自然を満喫する滞在型の企画を望みます。
- ・四季折々に景観の楽しめる温泉旅館などの宿泊施設があればいいと思います。
- ・45年前の夏、初めて買ったスバル R2 でスカイバレーから小野川温泉へヤング子連れ夫婦で行きました。その年の冬もまた小野川へ行きました。友人とはバイクツーリングに良く出掛けました。小野小町が確かここにもあったと思った。全国何処へ行っても同じようなバブル名サービス施設など要りません、私にはこの時代の強い思い出があります。
- ・1〜2週間程度滞在するのに都合の良い施設。既存のホテルや温泉旅館などに長期滞在プランがあっても良い。
- ・山形自体、温泉以外のイメージがあまりない。歴史好きには米沢は魅力的かもしれないが、それ以外の人にはあまり印象にない。芋煮も山形市のほうが有名なので、米沢ならではものを大々的に取り上げてみては。
- ・美味しい料理と、温泉と、歴史などに満遍なく触れられるプランを提供
- ・滝を見ながら温泉に入りたいです
- ・温泉や、アート体験などあるといいと思う
- ・立ち寄れるような温泉が沢山あると嬉しい
- ・東京からバスが出ていて、米沢牛などのグルメを楽しみながら名所を回るツアー。温泉も楽しめる、ある程度自由時間があるものが望ましい。
- ・ゆったりくつろげる穴場温泉宿と美味しいごはんのプラン

- ・温泉がありその近くに野菜売り場や食事処があれば良い
- ・星野リゾートや京都のような素敵な和の温泉宿、蛍が見られるお宿
- ・スノーボードで出かけたいので、遅くまでやっている日帰り温泉施設があったら良い
- ・ブランド力のある綺麗なホテルと温泉。
- ・温泉付きで広大な道の駅
- ・温泉街、スポーツ施設、違うホテルの温泉にも入れる無料チケットサービス
- ・客室露天風呂があるおしゃれな温泉施設
- ・米沢ラーメンは大好きなので、また食べに行きたい。温泉も入りたい。雪が降っていない時期に行きたい。
- ・軽くトレッキングできる立地条件で、近くに米沢の温泉と代表されるグルメを堪能できる温泉場で、運動しつつ湯治できる場所があれば、是非訪れたいと思う。
- ・交通機関とグルメ、温泉がセットになったツアーがあると行きやすい。パワースポットなどにも、焦点があたっているとよい。
- ・空港、または駅からの送迎付きの温泉バスなどや、観光地巡りバスなどあれば利用したい。
- ・温泉と郷土料理やブランド牛などのグルメ、そして山形の自然を満喫できる、旅行代金も交通費&宿泊費&観光費含めてお得お手頃な価格のプランがあればいいと思います。
- ・山登りと温泉の企画
- ・美味しい米沢牛のお店の地図、魅力的、個性的な温泉宿をサイトで紹介する
- ・温泉施設やサイクリングしたりして散策できる
- ・古い街並みを感じるような施設が、もう少し整備されるとよいと思う。おしゃれな温泉街が出来るとよい。
- ・ゆっくりできる温泉。米沢牛など地元の名産品が食べられる食事。
- ・市内に4つある名高い酒蔵を巡るツアー。夏油温泉等で様々な宿の温泉をハシゴできる「温泉手形」を出しているところがありますが、同様の「利き酒付き造り酒屋手形」の様なものを発行し、それぞれを賞味できれば日本酒ファンには楽しい。確か、宮城県加美町の真鶴を作っている田中酒造店などでも似たような酒蔵巡りを行っていた様に思います。米沢も魅力的な地域ですね。山形県も好きな場所が多く、この週末も高畠町に家族で出掛け温泉に宿泊して来ましたが、米沢もぜひまた行きたい。
- ・市内周辺のお買い物、グルメマップ、温泉マップ。それを配布している案内所の充実。東京から観光地をいくつか周遊して温泉宿に行く手頃なツアーがあれば行きたい
- ・天元台でのスキーに行くときに白布温泉を利用します。寒いときに食べる芋には最高です。やっぱり、米沢ならではの伝統料理を気軽に食べられるお店がほしいです
- ・一日観光ができ、その日泊まれる温泉があれば良いと思います。多分、米沢に行っても上山に泊まると思う。
- ・上杉祭りに合わせた温泉巡りのツアーがあれば参加したい
- ・いい温泉があるので温泉に宿泊して、米沢の魅力のある体験ができる施設があると魅

力的です。

- ・温泉が好きなので温泉をもっとPRしてほしい。美味しいものをもっとPRしてほしい。芋煮大好き。
- ・自動車がなくてもいい温泉に行けてゆっくり出来る。観光も付いていると行く気がする

■宿泊に関する意見

- ・半額で宿泊できるクーポンがあればよいと思う。
- ・交通費の割引サービス。例えば車ではなく公共交通機関利用者は宿泊費を割り引くなどの施策ですね。
- ・リーズナブルな値段でくつろげる宿泊施設
- ・古民家などの宿泊施設などの情報が知りたいです
- ・町中心部にありながら風情のある宿泊施設
- ・一定のホテルや旅館などより、安い値段で宿泊できる施設があれば理想です。
- ・もう少しサービスの良いホテルに宿泊したい。
- ・米沢に宿泊しましたが街に活気がほしい。
- ・極上のおんせんとお料理がセットの宿
- ・関東からだ、移動時間がネックになると思うので、新幹線と宿泊がセットになった格安の旅行商品があれば、ぜひ行ってみたいと思う。
- ・ガイドなどが安くついてもらえる。旅館の割引、宿や街で使えるチケット、格安のパック旅行
- ・駅直結の宿泊施設、レンタカー。
- ・公共の宿。東京から交通の便が悪いイメージがあるので、バスと宿をセットにしたツアー
- ・地産地消の料理を出してくれる温乱宿があって わんこ連れで泊まれたら行きたい。
- ・市内のビジネスホテルの充実と駐車場の数を増やして欲しい
- ・綺麗な浴衣を自分で選んで着られる旅館
- ・赤ちゃんプランがある旅館

■ペットに関する意見

- ・ペット同伴可のホテル。
- ・ペット可で各部屋に露天風呂、占有庭付きのホテル
- ・ペットと行ける場所
- ・犬と楽しく遊べる施設と犬と安く泊まれる素敵なホテル

■自然に関する意見

- ・名所や自然のある場所への案内をわかりやすくして欲しい。

・現状で問題ないかと思います。というより充分魅力を感じる歴史と自然と特産品なので、もっと魅力を感じさせてくれるような紹介があって、それを見る機会が多くあれば行くかもしれませんね。

・現在の自然で十分アピール力だと思う

・溪谷・滝など自然をめぐるツアー

・足が不自由で杖で歩けなくもないが、不安定なのと疲れやすいので、できれば車いすを利用できたらいいと思っています。まだ、自分の車いすを所持していないので、その場その場で借りられるとありがたいです。バリアリーであることが、私の条件であります。障害者でも、自然を満喫したいと強く希望しています。

・スクリーンで自然を写す

・各シーズンで自然が楽しめるコース（2泊・3泊コースなど）があれば行きやすい。

・いまのままでいいと思います。自然の中に息づいていて欲しいです。

・あれだけの自然と郷土料理があれば、それだけで良いと思います。あまり人工的なものは作らないで欲しい。

・満天の星空を見たい

・田んぼアートのツアーや地域の伝統文化を見てみたい

・一番、これを目的にいきたい！と思うのは田んぼアートかな。青森といえば、ねぶた。みたいので、米沢牛のブランドは、全国区だから、そのテーマパーク？めんたいパーク的な。とかあれば寄りますね。田んぼアートは、できそうで、できないから、いいと思うし、それを目的に米沢いきたいと思うから、むしろその庭園とかにしてもいいかもしれないですね。アートのまま花が咲いたっていい。

・野鳥観察コースの紹介

・あるがままの現風景・現状・現況のまま良い。

・漁協が溪流釣の整備をしてくれたら。

・紅葉のきれいな山を定期的にマイクロバスなどで回ってほしい。自分で山道を運転するのはしんどいので。

・滝も見てみたいです

■上杉家に関する意見

・上杉鷹山に関連する総合的な施設があれば魅力的だと思います。

・上杉景勝の博物館や米沢城再建など

・米沢牛や上杉や直江兼続などの歴史に触れたい

・上杉家をもっとアピールすべき

・上杉家ゆかりの品々を一か所に集めた博物館など

・せっかく NEC の工場があるのだから、そこでしか買えない上杉家の家紋の入ったタブレットや携帯があったり、工場直売のアウトレット商品を販売するとより一層魅力的な街になると思います。歴史のある土地ならではの伝統と最先端の技術の融合があると良

いと勝手な事を思ってしまった。

- ・上杉家の歴史がワンストップでわかる施設
- ・現在上杉神社の近くの施設をもう少し充実させたら良いと思う。
- ・真田丸効果で上杉景勝や直江兼続関連のイベントや商品。
- ・上杉家関連のテーマパーク

■歴史に関する意見

- ・米沢の歴史を肌で体感できるアミューズメントパーク
- ・ガイドなどでなく地元の方から直接米沢の歴史や背景を聴く機会。
- ・歴史がよく知らない人でも分かりやすいサービスや施設があるとよい。また、ゲストハウスがあるとよい。
- ・歴史的価値のある史跡等を全面に押し出すと良いと思います
- ・歴史に溢れる市なので重点を置き、老若男女問わず楽しめる施設があればと思う。
- ・米沢市の歴史が1箇所で学べる博物館
- ・米沢は行きたいと思っているまちです。すごく日本的なまちで歴史もあるので、日本的な織物や刺子を体験したい。芋煮も本場の味を味わってみたいと思います。地野菜の野菜も味わいたい。それにつけた漬物など料理も教わりたい。
- ・今までの民芸品、歴史を感じる施設で良い。
- ・戦国時代に関するもの
- ・戦国武将をアピール
- ・長谷堂の戦いの祭り

■道の駅に関する意見

- ・米沢牛を気軽に購入出来る、生産直売所があればより魅力的に感じる。道の駅のような形態で出来れば、遠くてもドライブがてら伺いたい。
- ・いつでも米沢ラーメンをたべさせてくれるポイント(道の駅風の店舗と駐車場のある)がほしい。
- ・魅力的な道の駅や物産館

2. 各種団体の聞き取り調査

(1) 調査目的

本調査は、米沢市で活動する地域ブランドと関係の深い団体や庁内関係部署を対象に、地域資源活用で情報発信したい重点取組分野や概要、米沢の地域資源活用に期待することを聴取し、米沢ブランド戦略策定のための資料とすることを目的として実施した。

(2) 調査項目

①地域資源活用で情報発信したい重点取組分野

・特産品、観光、企業誘致、定住促進、文化発信など

②重点取組分野の概要

・ターゲット、商品・サービス、強み・弱み、活用している地域資源、マーケティング戦略、地域ブランド化など

③米沢の地域資源活用に期待すること

(3) 調査方法

各種団体、関係部署に対して、個別聞き取り調査を実施した。

・事務局 米沢市産業部農林課

・インタビュアー 金子和夫事務所株式会社 金子和夫 ・記録 上田真弓

(4) 対象団体・実施日時

以下の10団体に対して行った。

・平成28年8月22日（月）

11:00～12:00	①米沢観光コンベンション協会
13:15～13:45	②米沢市文化課
14:00～14:30	③米沢市都市整備課
14:30～15:00	④米沢市観光課
15:00～15:30	⑤米沢市商工課
16:00～17:00	⑥JA山形おきたま（ブランディング担当課）

・平成28年8月23日（火）

9:30～10:30	⑦米沢繊維協議会
10:45～11:45	⑧米沢青年会議所
15:00～15:30	⑨米沢市総合政策課
15:45～16:45	⑩米沢商工会議所

(5)聞き取り調査結果

①米沢観光コンベンション協会

日時	平成 28 年 8 月 22 日（月） 11：00～12：00
場所	米沢観光コンベンション協会内会議室
対象者	一般社団法人米沢観光コンベンション協会 事務局次長 青木一成様、他 1 名

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- コンベンション協会としてのロゴは特にない。以前に作成したものはあるが、現在は仕様していない。コンベンション協会を代表するリーフレットはある。
- 一般社団法人化したのは昨年で、今年度の方向性は今後作成する。これからの協会の在り方（コピー、ロゴ等）を考える予定である。進捗状況は 20%である。
- ビジョン（中長期ビジョン策定研究）の完成時期は未定である。時間をかければ良いものができるというものではないので、スピード感を持ってやりたい。来年 3 月を目処に形にしたい。形にしたものから露出する予定である。
- ビジョンの策定にあたっては、予算と外部専門家はついているのか。
→相談しているのは、東北芸工大学である。景観形成と観光、まちづくり手法のアドバイスをいただいた。業務委託は行っていない。進める際には頼む予定である。
- 今年度ビジョンやブランドデザインについては、今年度中は長期ビジョンとして概略策定にとどめる予定である。
- 市のブランド戦略で、米沢の観光から見たメッセージ・市のイメージ・観光商品・ターゲットの整理については、まだ考えていない。担当がどこまで考えているか、不明であるので確認を行いたい。
- ブランドについて、全体的なアンケートを 10 年前に調査を行ったことはある。外部データも米沢牛・温泉等の消費者調査を行った。企業と観光客からの聞き取り調査を半年くらいかけて 10 年前に行った。
- 観光コンベンションとしての資源は、パンフレットに記載している内容だ。網羅的に掲載されている。
- キャッチフレーズは、米沢市観光課と方向性を同じにしている。「上杉の城下町・米沢」である。
- コンベンション協会では、専門家については、専務理事兼事務局長が役割を担っている。スポットでイベントごとに専門家に委嘱することはある。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 地域創生で DMO の取り組みがある。協会では取組はあるか。
→地方創生の国の予算内ではいろいろ実施している。事業としては、宿泊パックなどだ。さらに「米沢まちあるき事業」を観光課と一緒に実施した。外部専門家は、

観光課で米沢版「るるぶ」の作成や、JR 東日本が入った。編集・印刷は観光課が実施した。

- 観光課が予算をとり、実施する時に協会に落としてくることが多い。もう少し企画立案段階から落としてもらえると、民間の感覚でのイベントや事業ができると考える。ガチガチに決まってから落とされる。明らかに無駄なものがある。
- 物品を購入する時も、100 円のもので 50～60 円で仕入れられるものもある。一体化すれば良いものができると思う。県も同様で、バラバラに実施している。行政もそうではあるが、民間とは結果の質が違う。行政だと「やった」ことが重要だ。成果は数値に関して見えてこない部分が多い。目標は一緒だが手法はバラバラだ。
- 米沢ではたくさんの事をやっているが、現状集中的に実施していないように思える。
→会長も考えている。中長期ビジョンでうちだしていきたいと考える。
- 観光ビジョンを考えるにあたり、市のブランド戦略でもできるだけ幅広に入ってもらっているが、観光ビジョンの体制はどんなもので誰が参加するのか。
→まだリストアップしていない。コアスタッフでまず議論することが大事だ。それは副会長を中心として若手職員に声かけをしてコアスタッフとなる。
- 外部のデザインやプランニングを大胆に入れることもある。昭文社だと「ことりっぷ」を入れる、JTB でもソーシャルツーリズムプロデューサーの女性たちを入れることがあるだろう。コアメンバーだけだと固めすぎる感もある。幅広に入れるのはどうだろうか。外国人を入れることもある。観光とはいえ市への移住の関係などもあり、一体で行った方がよいと思えるが、観光課では壁を作りたがる傾向にある。
→我々が追いついていかないと地域観光で負けてしまう。

c. 「米沢ブランド」に期待すること

- ブランドで期待することをたくさん記載している。米沢ラーメンは登録しているのか。→登録されている。団体は、「米沢伍麺会（製麺業者中心）」「米沢麺業組合」が中心となっている。5 年ほど取り組みをしている。
- GI 認定を目指しているのか
→副市長から聞いている。米沢牛は GI までではないが、商標として登録された。
- 米沢牛は、全体的に A3～A5 規格という印象はある。一方で国の補助金をいれてうまみを測定する成分機を入れた。2000 万円する機械だ。今の日本の認定制度だと、霜降りの具合だけだが、そうでなくて風味や味を数値化することを目指している。美味しさを数値化して認証につなげ、ランク化につなげる。これは求められる米沢牛が、従来から変わってきていることが背景にある。需要が多いので歩留まりのよい品種が求められている。今までの米沢牛では歩留まりは小さい。しかし美味しく香りはある。田島系の血統を入れると大きくならないが味はよい。一方で、需要に追いつかないので多く肉がとれる種を入れているが、いずれ後手を踏む。米沢の第一ブランドは牛肉である。見た目ではなくてやはり味である。だから、先んじて味の

ランクづけを行うのがよいと感じている。実際農林課が考えている。

- 観光だと一番引っ張りやすいのはネームバリューがある米沢牛だ。それでひっぱりつて新たな観光資源に触れてもらうことが一番手取り早い。価格だけではない。価格は高騰しているが、裏付けはない。大型化して味が落ちると足元をすくわれかねない。
- (金子) 米沢牛は確立しているが、流通量は少なく首都圏だと限定された場所しか食べられない。子牛も高い。地域全体にどう経済効果を出すか。親しみやすい食品にどうしていくか。米沢牛とは違う。プレミアムなブランドはあるがセカンド、サードブランドなど客が選ぶことも必要だ。肉も米沢牛とそれ以外という出し方になるが、セカンド米沢牛があり、若い人向けに打ち出すことはあるのではないかな。酒はそうだ。
→確かにコンテスト用の酒を造ることはあり打ち出すことはある。
→(金子) 米沢はプレミアムなものはあるが、その下で儲かるものが手付かずで難しい。金と銀というバージョンがあるとよいのではないかな。
- 米沢らしいパッケージやロゴは、バラバラにならないようにした方がよい。会議所がマークを持っている。これらのマークを統合してルールを決めないといけない。
- コンベンション協会で作ったマークもある。速水先生(東京在住)にお願いした。「上杉城史苑」のマークも作った。今年度コンベンション協会と観光協会と一緒にやっている。
- 観光協会はマークがなかった。
- グリーンが米沢の色だとしている。アンケートを10年前にとり、「米沢グリーン」とした。でも広く市民に知れ渡っていない。
→(金子) 上杉だと、旗のイメージがある。ブランドデザインを決める上では、ブランドデザインを専門にする会社がありスタッフが地域に入り決めていく。最初はキーワードを出し、コンセプト、キャッチフレーズを出しデザインを決める。マークの前にストーリーありきである。そういうストーリーがあれば受入しやすい。米沢ブランドという時に特産品やモノを売っていくパッケージに貼る役割と、ポスター・サインとして使っていく、都市デザインに使っていくなどもある。商品と観光を売るためにブランドを積極的に使っていくことが多い。市民の共感シンボルとしては、やや後だ。それよりも外貨をかせぐ。外から見た「米沢らしさ」をデザインすることが必要である。
- 「パツ」と見て米沢を想起するものではないとダメだ。城下町らしさ、ストーリーをどう作っていくか。
- (金子) 今年はまだ観光ビジョンとして立ち入ることはないのか。
→先生にお願いしてこれを伝えてタイムスケジュールを決めないといけない。
- 認定制度は独自にはない。商品等のピックアップのよりどころについては、会員を中心にしている。

- 着地型観光の免許は持っていない。道の駅のオープンにあわせて、手がけていく。観光総合案内所の部分で関わっている。道の駅に新たに準備してもらって、職員を3～4名派遣する。道の駅も物販飲食が中心だ。観光案内所には人がいない。
- 地元も人も立ち寄ることが必要だ。米沢の道の駅は、市内や置賜へ観光に行くようにしないといけない。赤字ではいけない。それを担うのは協会だ。なんとか山形に観光に来る人が、米沢の道の駅に立ち寄ることにならないといけない。牛肉を別で出されては困る。
- バス営業は考えていない。道の駅がワンストップ窓口になればよい。
- トイレが集客のポイントだ。そこから町に流れるようにつなぐことが必要だが、まだ弱い。福島県の被災地域からの道路は無料なので、道の駅経由で市内に流れる。最終的に相馬から秋田まで無料道路で現在は行けるようになっている。平成29年度に福島-米沢間が開通で、無料区間は福島から北インター（米沢）までで、そこからは有料だ。サービスエリアや付帯設備は直轄だ。当面は道の駅と市内観光が大きなプロジェクトだ。
- 物産館は第三セクターが行っている。
- 協会の自主事業はない。この物販くらいで収益事業はない。行政からそれをやれ、収益事業を拡大しろ、と言われている。
- 取組としては「共通乗り放題（米沢乗るパス）」があるが、専用バスは走っていない。米沢市のバスは生活支援路線だけである。観光用はない。乗車率も低い。昔、船はあった。
- 米沢ブランド事業としては、観光課と一緒に米沢型インバウンド推進の取組を、台湾をターゲットに行っている。ブランド事業の一つである。モニターツアーはまだである。
- 着物を来て歩くなど実施するとよい。浅草もすごい。甲冑も着る。市長も甲冑を揃えたいという。飲み屋でも米織を来て接待するらしい。20店舗内である。観光客が着物着替えて飲みに行くのも楽しい。観光客に着せるのはよい。「まちバル」も楽しい。今うちわであるが、地元の人に仲間にいれてもらって飲むのは楽しい。
- 横丁をやる気がある人が実施することはある。
- 長年「のれん」を守って後継者がいない店がけっこうある。道の駅の後継者としてつなぐシステムはあるだろう。最初からお客さんはついてくる。ラーメン屋でたまに見られる。昔からの店を失わないことになる。
→（金子）地域お越し協力隊でスカウトすることがある。3年間は生活費が出る。鳴子温泉の地方創生の取組で漆器を守るということで、5人採用し職業につける。

以上

②米沢市文化課

日時	平成28年8月22日（月）13：15～13：45
----	--------------------------

場所	米沢市役所内打ち合わせスペース
対象者	米沢市教育委員会 教育管理部文化課 主任 宮田直樹様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- 文化財担当として取り組んでいることは、舘山城跡が今年の3月1日付で国指定史跡になった。本年度は力を入れている。歴史博物館で展示を行っている。10月1日から「舘山城」特別展を行う。売りは、伊達氏と上杉氏という戦国武将2人に関わる全国的に有名な山城である。
- 文化財担当のジャンルは、美術工芸品、建物、古文書、史跡、動植物、天然記念物と様々なものがある。
- 「米沢の文化」と言う時には、「上杉の城下町」が一番多い。文化財も上杉家に関するものが圧倒的に多い。
- シンボリックなものは、「洛中洛外屏風」である。歴史好きなら知っている。織田信長から上杉謙信に送られた屏風だ。国宝である。県内の国宝は5件しかなく、うち2件は市内博物館にある。上杉家から米沢市に寄贈された。大河ドラマでも使われた。
- 米沢城は、上杉神社しかない。城の風情は感じられない。物の方がすごい。米沢城は、「廃城令」がでて機能が失われ、明治9年に大規模に壊された。寺町も移動した。米沢は残すという選択はしなかった。政府の上からのお達しをまじめに守ったのではないか。城郭として天守閣があったわけではなかった。城下町の人間としてはシンボルとして認識は薄かったのではないか。
- 一般公開については、国宝だと年間上限60日としている。GWの上杉祭りに合わせて公開する。
- 無形の文化財については「獅子踊」がある。もう一つ、福島県の県境の限界集落で「綱木（つなぎ）獅子踊」もあり、両方ともは100人は来る。8月15、16日である。伝統芸能として両方とも大事だ。
- 「米沢らしい文化・気質」は、個人的には「(米沢に対する)こだわりが強い」と思う。米沢人としてのアイデンティティが強い。米沢は郷土愛が強い。小中学校の体育館に上杉鷹山と謙信の肖像画がある。「なせばなる」が代表である。職員も好きな言葉であげている人は多い。
- ケネディ大使も鷹山の関係で来市した。
- キャラクター・シンボルは「かねたん」で、名刺使用について申請すれば誰でも使える。直江兼次は「天地人」であつという間に有名になった。
- 米沢市民は上杉鷹山が一番好きではないか。「鷹山公」と言わないと怒られる。
- 文化財の情報発信としては、パンフレットを作る、冊子を作る（保存修理事業：～平成37年度）などでPRする。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 文化財を広めていく取組で、面白い活動は、現場の説明会を実施していることだ。寺と神社の保存修理なので、「半解体修理」といって骨組みだけにして作り直している。時間がかかる。毎年2回は説明会を行い、現場に来てもらい地元や興味ある人に保存修理の経過現場を見てもらう。なかなか経過は見られないので、来てもらった人は満足する。
- 文化財と広域的なツーリズムは実施してない。課題はつながっていないことだと思う。
- 文化財を指定して守るだけではない。活用するという視点で、ツーリズムとして見てもらう機会を作ることを考えなくてはならない。
- 「鷹山大学」は市民生涯学習だ。講座として史跡を案内するということもある。
- 芸術で新しい取組は、市内であるかもしれないが、把握していない。「田んぼアート」などはある。
- 「米沢ブランド」として整理するにあたって、ツールとして活用できればよい。
- 「米沢ブランド」で文化財ではやはり「洛中洛外屏風」が売りである。歴史は史料に根差した全国に誇れるものがたくさんある。ただ、「上杉家」のものである。
- 新潟県民は米沢市に対してわりと好意的なイメージを持っている。新潟県は核と言える大名家は少ないからかもしれない。

以上

③米沢市都市整備課

日時	平成 28 年 8 月 22 日（火） 14：00～14：30
場所	米沢市役所内打ち合わせスペース
対象者	米沢市 建設部都市整備課課長補佐兼公園緑地主査 本間浩様 米沢市 建設部都市整備課主任 佐久間竜太様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- 特にブランドとしての取組はない。
- 景観計画としてはあるが、ブランドとしてはざっくりしている。「米沢市景観計画」のコンセプトは「緑と歴史」「上杉と山の緑」はある。サイトで公開されている。「米沢らしさ」というのが繰り返しでてくる。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- キーワードやシンボルデザイン・キャラクターは、具体性はない。米沢市全体が景観計画に基づく景観形成地域であるが、あまりにも広すぎる。
- 重点地区が4つあり、上杉神社周辺（松ヶ崎周辺地区）、駅前、上杉家廟所、小野川地区である。4箇所については、少し具体的になっているが、デザインについては具体的ではない。
- 「デザインガイド」があり、地域ごとの方向性を示している。実情は松ヶ崎周辺地区、上杉家廟所付近については昔の景観計画ができる前から、市民の意識が盛り上がる前から進んでいた。
- 一方、小野川地区については、温泉地ということもあり、自分達の商売につながるということで、「温泉は景観が大事」ということで新しく進めている。
- 歩道の柵などスポットのデザインはない。建物や工作物に関して、ある程度の方向性はある、和風の建物、下に板張りを設置するなどはあるが、シンボリックなものとして景観として進めるという発想がなかった。
- 「小野小町」「美人の湯」と全体的なイメージとしてあるが、町並みとしてはどうか。
- 駅舎建物と山大工学部は具体的なイメージとして合わせたい。駅前はもともと駅舎と山大工学部の建物をイメージしてつくったというところと、音羽屋という旅館もあり「明治大正ロマン」を思い起こさせる整備を10年前に作った。一方で、米沢駅から見ると、左側が作りもののような日本家屋（下が黒い建物）、右側は黄色い建物が続きイメージが混在している。上杉なのに「大正ロマン」とはなんだという声もある。
- 重点地区の中では小野川以外は、景観整備については外観を変える場合は補助金を交付している。
- 米沢市は3方を寺で囲まれていて防御線とした。駅と上杉の間に東寺町があり、板

塀を整備した。その成果を広めるための板塀事業として補助金を出している。「城下町らしさ」をかもしだすために、まずは点を増やしていきたい。

- 道の駅は重点地区の外であるが、米沢市全体として見なくてはならないが、工業施設の指針が景観計画の中にある。緑を増やす、周辺景観に配慮しようというざっくりした計画がある。建物そのものもできるだけ「城下町風」に近づける、特に建物の中について「城下町らしさ」を演出しようと設計している。「ブランド価値」については、「道の駅のマーケティング」として動いている。
- 米沢市全体としての景観は、「壊さない」という規制で動いている。法律に基づく届出制となっている。
- 米沢観光コンベンション協議会に新たに副会長職として「景観担当」を今年度から設けた。観光で景観が大事だと会長が強く思っている。小野川地区だけではなく観光コンベンションでも景観に対して、やっと民間レベルで動きが出てきた。しかし、米沢は大正8～9年に大きな火事があり全部失っていることがあり、その後戦後の混乱も含め、混乱した街並みができた。秩序だっていない。「城下町らしくない」とよく言われる。
- 景観計画も、「歴史」とはいうものの、「城下町」とははっきり言っていない。景観は「みんなで作っていく営みの結果」と考えると、考え方と方向性のとりまとめが必要だが、行政としても決めかねている。直江兼次が作った道がそのまま残っているが、建物が全く異なっている。
- 「御濠端」の周りは桜も綺麗なので、板塀を設置するなど考えられるが、きっかけやお金、勢いがついていない。小野川も広い道路を演出したいという要望も来ているが、実現していない。
- 上杉神社の東側の拡幅事業も、「いつやるのだろう」とあり期待はありきっかけの一つになるが、県では動く気がない。
- ランドマークとしては、要所もあるが、それよりも「上杉」のイメージが大きい。観光パンフレットも銅像が最初に来ている。ソフトイメージに対する誇りは高い。
- スキー場は、謙信公が白馬にまたがり槍を持っているように見える。
- イノベーションについては、「BBB」だけでなく、「ラボラトリー」はもともと別の場所にあったが、米沢市が賑わってほしいという思いで開業した。同じような店は、点在している。上杉家神社の近くだと、ファミリーマート裏に蔵があり牛皮かばん屋さんとしてリノベーションした。そういう動きがぽつぽつある。町なかではないが国分小学校近くの蔵をイノベーションしてカフェにした例はある。蔵は燃えずに残ったので、蔵を残していこうということで、補助金を出している。ただ成果は出てきていない。
- デザイン系は芸術工科大学が取組をしている。

以上

④米沢市観光課

日時	平成 28 年 8 月 22 日（火）14：30～15：00
場所	米沢市役所内打ち合わせスペース
対象者	米沢市 産業部観光課 主任 佐藤功児様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- 各種観光パンフレットは作成している。「天地人」の頃からある。「愛の前立て」と「信義の義」の精神ということで、米沢を表現する言葉として駅にも設置してある。
- 「ゆるキャラコンテント」には「かねたんず」の 4 人だけ参加している。400 位くらいである。
- 商品は、認証は特段ない。公平に扱うようにしている。ブランド化として、「米沢おみやげガイド」で商品を扱っている。土産については、例えば米沢牛はのれん会などの組織団体等と相談している。会員店舗となっているところからピックアップしている。広く浅く取り上げている。
- YouTube の公式チャンネルを持っていて、外郭団体で運営している。
- これから力を入れていきたいのはインスタグラムである。立ち上げたばかりだ。今月中に米沢観光素材を写真で 100 件掲載する。
- 「ユーチューバー」を「農林まつり」で招聘して温泉地を見て米沢牛を食べてもらい体験・発信してもらっている。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 首都圏で発表会等については、それほどない。予算の問題もある。20 年前に東京湾から納涼船が出ているが、貸し切って抽選会や観光 PR を行っている。それくらいだ。
- 観光物産協会として物産展に行ってもらっている。首都圏・山形アンテナショップ・姉妹都市で開催する。
- イメージアップを目的としたものとしては、独自に考えてやっているのは、キャンペーン時に甲冑姿としていた。プロをはさんで PR については、興味はあるが、予算の関係もあり実施していない。
- JR・JTB に売れる素材はあるので、ほぼ取り上げてもらっている。
- 昨年米沢市で「るるぶ」を作った。その時も、JTB パブリッシングなどが先方で掲載したいものを言うてくる。今のニーズに強いものとして、女子目線でのサイクリングで回れる先としてまとめた。基本自家用車移動が基本の中、サイクリングを提案した。自動車だと行く場所が限定される。あとは「米沢牛」をキャッチイに使う。
- 先方のリクエストとギャップがあったものは、なかった。こちらとはほぼ一致した。熟れるものとして、米沢牛・ラーメンを出したが、こちら相手側も出したかったものだ。義経焼きは羊肉だがそういったものや地元レストランをピックアップした。

- インバウンドの事業費でパンフレットを作った。外国人観光客が少ないので、英語目線で作った。実際には台湾が多いが、それだけに限定されないように英語にした。原発後は中国人観光客が減った。台湾からは、飯豊町でいなか暮らしを体験する取組をしているので来日する。土産を購入しに来る。インバウンドや教育旅行を言い始めたのはつい最近だ。それまではほぼ国内向けである。
- 外国人観光客は、仙台からは蔵王、庄内ルートで米沢に入っていない。旅行会社へもリベートを払っていない。バス会社は、トイレには寄るが休憩だけである。やはり旅行会社のリベートが落ちる場所に流れている。
- 特産品の販路開拓については、観光物産協会へ委託している。200 万くらいの予算を出して、デパートの山形店・東北店に出店してもらっている。個別にバイヤーに行政として売りに行くことはない。
- もともと物産展については下地があった。催事慣れしている。
- 事業者へは惣菜など、市でPR しやすくさらに日持ちもするものとして作ってもらっている。要冷蔵品はなかなか保健所の許可が下りない。
- 噂で「市役所が何でいまさ」らという話を聞く。「米沢牛」・「日本酒」を売ってきた。何でいまさらという声は聞く。市で言っているブランドも認証したブランドというか、「売れるブランド」を決める必要がある。特にインバウンドは欲しいものを的確に提供してあげないといけないと、観光課としては認識している。事業者はなぜ今まで一生懸命やってきたのに、今更と言う。着地点やゴールが見えていない。ブランドが何をするために設けるのか。伝わっていない。
→（金子）スーパーのレギュラーを狙うことは分かっている。目的を伝えたい。
- 大手百貨店でレギュラーとして扱ってもらえれば、事業者や市としても「願ったり」だ。
- 米沢市がPR できる素材については、贅沢な悩みではあるが、米沢はあらゆるものが一通りある。歴史もあれば食べ物もおいしい。ありすぎるほどだ。聞いた事のない町や市であれば、「これしかない」となる。広く浅くにびったりだ。米沢市として売るのはこれ、というように本当は明確にしたい。
- 米沢は、伝統的な菓子で、ピンポイントで売れるものがない。「萩の月」など明確にできればよい。「時雨の松」くらいだ。市民はあまり食べていない。酒は「東光」がある。
→（金子）ターゲットを明確にしてストーリーを作り商品を絞って売ることが大切だ。
- 5 年前にスイーツツアーが流行ったが、面白い企画だと思っていた。
- DMO のようなお金も管理してくれる運営媒体がいてくれるとよい。たくさん組織がありすぎてまとまらない。観光コンベンション協会が担ってほしいが、補助金ありきが強い。自分がお金をとるという発想がない。尖がった人がいるとよい。
- ロゴマークは観光コンベンション協会で作っている。しかし、米沢のロゴマークで

はない。「おしよしなショップ」でやっているリングのものがあるが、波及してこないので使いにくい。ルール決めの問題だ。

以上

⑤米沢市商工課

日時	平成 28 年 8 月 22 日（火） 15：00～15：30
場所	米沢市役所内打ち合わせスペース
対象者	米沢市 産業部商工課 工業労務担当 主任 若井彩子様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- 工業製品出荷額は、米沢市は東北で 5 位であり、県内で 1 位だ。「ものづくりのまち米沢」というキャッチフレーズがある。パンフレットはないが、工業振興計画の中に記載がある。以前作成したが、時間が経っているので、再度作り直している。今年度中に出来上がる予定である。
- 「米沢ブランド」として取り上げているのが、米沢織と有機 EL である。
- JAPAN ブランドに取り組んだことはない。中小企業のブランド事業にも取り組んだことはない。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 米沢織は、着物もあるが洋装もあり海外にも輸出している。着物は縮小している。後継者もいる。若い人が織物工場で頑張っている。
→（金子）ブランドとしては、小物を作るのではなく、輸出などをもっと PR した方がよいのではないか。
→織物工業協会組合会員の中でも意見が合わない。新聞記事には取り上げられている。
- 米沢織の産業構造について、組織図の資料はある。バッグなどの小物はちょっとやってみようということで、会員企業の中で出しているところがある。
- 成長分野は、会社によって異なる。賞を取ったところがあるが、紅花染の反物を作っているところがある。小物は主製品ではない。ブランドの取組については、東京オリンピックに向けてすべての国の織物を作っている活動がある。ワークショップに来ていた諏訪様はペルーの着物を作っていた。全国的には着物も売れている。
- 袴はシェアが 95%である。ただ、米沢発という宣伝をしていない。かといって儲かっていないようだ。歌舞伎で着ている袴も特注で作っている。
- 有機 EL については、照明を地元企業が作り、販売をしようとしているところだ。ものはあるので販売先を模索している。高級路線で売っていく予定である。できれば「アイコン化」したい。実用化研究会（大学・研究企業・ベンチャー）がある。地元メーカーがある。有機 EL の大手もまだできていなくて、LG も成功していない。研究企業が市内にある。周辺企業、ベンチャーなどもある。昨年は関西の鉄道に取り入れてもらった。営業先を探している。地場商品として育てていきたい。市民も知っている。地域ブランド化するには、ブランド名称をつけようと思っている。
- （金子）有機 EL を使った「まちなかアートフェスティバル」など、文化を含めてイ

メージ発信プロジェクトとプロダクトを同時並行させるのはどうか。

→コスト面の競争で問題がある。

- 有機 EL の作戦本部は商工会の「有機 EL 実用化研究会」である。県や企業・会議所が入っている。昨年は国のお金で 700 万円くらい使った。海外の展示会にも出展している。ただ、品質の定義はない。マークもない。ただ、中国生産は入っていない。有機 EL については、認証制度はない。生産事業者は 10 社くらいである。ただ小さい。大学の先生が社長をやっているところもある。大きいところもあるが、中小レベルで 500 人くらいの規模だ。
- 有機 EL は技術について 10 社はゼロから作る場所から出発する。デザインに特化したところがあるかもしれない。光る部分は、パイオニアとルミオテック社（米沢市）が作る。
- パッケージもデザイン性が問われる。
- 製品は照明である。コップなどを置いたりできる。
- 繊維と業界がわかる情報、商品開発状況がわかる資料は、工業製品カタログがある。
- 研究会では、各事業者は業務用市場向けに販売している。
- 有機 EL と米沢織と融合した「明かり」を検討しており、展示会でも有機 EL を利用している。色も出せる。和紙でスタンドを作った。
- 有機 EL の名称は検討したが、県全体で統一することは難しかった。

以上

⑥ J A 山形おきたま

日時	平成 28 年 8 月 22 日（火）16：00～17：00
場所	J A 山形おきたま内会議室
対象者	J A 山形おきたま生産販売部ブランディング担当課課長補佐 井上千鶴子様 J A 山形おきたま生産販売部ブランディング担当課 武者恭佳様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- ブランディング担当課は、置賜地域のブランディングを行っている。置賜の商品開発か、農産物販売などを多岐にわたり PR を行っている。
- 取組のパンフレットがある。（一部商品は休止）
- 新たに置賜ブランドの象徴となるものを確率しようと、プロジェクトを7月から立ち上げた。本日第2回目の会議があったばかりだ。「置賜ブランド商品開発プロジェクト」である。農畜産物を中心に、置賜の知名度を上げようと商品開発を進めている。商品開発であるが、販売しないと商品に値しない。
- プロジェクトは、新商品開発も込みである。置賜を象徴する商品を作り、PR につなげたいと考える。基本的に一次産物を広げるために加工する。
- 置賜で作るブランドを広く普及しようと、それぞれの市町で頑張っている商品を一致団結して広げ全体を高めている。農協内で品質は選定している。置賜ブランドは、ある商品を広めるということが目的なので、品質選定まではしていない。
→（金子）消費者とバイヤーはより高めた商品を作る方が喜ぶ。農協の商品の問題はそこにある。
- 置賜ブランドを高めるために、「置賜新聞」を発行している。インターネット新聞なので誰でも見られる。サイトの他、Facebook も通じて発信している。農協の情報だけではなくイベントや歴史などもわかる。地域外も置賜に関心をもってほしいと思う。
- 置賜ブランドのメッセージやロゴは商品にも貼付している。「置賜食のモデル地域協議会」の農水省の事業で、農協で事務局を構えて活動を行っている。置賜新聞もこの団体の事業の1つである。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 商品は、いくつかできているが、製造販売まで至ったものは、ドリンクだけである。
- 一次産物の販売はしているが、置賜ブランド商品としては至っていない。加工商品だけである。一次販売につながる加工品を作り、最終的には農畜産物の販売強化をする。新商品としてのドリンクは、異業種の人にも入って一緒に商品開発をした。バーテンダーの方にも入ってもらった。今後の流れは方向転換をしていて、これまでは農林水産省が強引に進んでいたこともあるので、もっとターゲットをしばって商品開発を行うことを想定している。外部の意見も聞きながら企画している。委託

して製造する。製造から販売協力を集めて、主体は農協側にあるが 50-50 の関係で実施したい。まだ東京などで商品を卸していない。

- 米沢牛の管轄もあるが、セクションが異なる。団体名は「山形置賜農協」ではない。
- 基本的に「米沢ブランド」というよりも「置賜のもの」として販売したいが、米沢の箱で売ることにはある。生産者側でもプライドがある。特に果汁（りんご）と花はある。野菜はあまりない。
- 花は地域によって長さが異なる。それで差がつくこともある。長さ・品質が違うということで市場から統一してほしいという要望もある。地域柄で異なる。白鷹だけ 65cm で他が 60cm というように、一部だけそろえない農家もある。統一化を進めたい。

→（金子）農協が基準を設けて揃えられるだろう。

- （金子）米沢ブランドで今年は事業を市として整理した。来年以降米沢のいいものを選ぶ。農産物でもよいものの、基準を設ける必要がでてくる。地場伝統野菜は首都圏から見ると興味があるので、そういうものを救い上げたい。良いものかどうか、狙うマーケットをどこにするか。米沢の農協に出している農家が、米沢ブランドとして出していくのか相談が必要だ。農産物で少量でも高品質のものは、外食産業や一部の高級スーパーに卸す販路につなぐ。

→市場出荷では置賜ブランドになる。農協はどれだけ市場に強く言えるか、市場の需要に合わせて出荷体制が優先される。しかし、消費者目線は弱い。

- 小野川豆もやし、伝統野菜は農協で取り扱っているが、市場より高く評価してくれる客はいる。市場頼みだけでは厳しいと思っている。無農薬、伝統野菜を扱う卸からインターネットを通じて仕入れている。（卸の名前は不明）
- 置賜を発信して知名度を上げることは難しい。興味を持ってもらうことが第一歩だ。
- 置賜地区はそれぞれの自治体が独自の取り組みをしている。良い所だと思う。首都圏で販売していると、山形出身者でも上山温泉や山形市は行っても、置賜や米沢は通過してしまうということも多く聞かれる。しかし、興味あるとは言われる。観光客が身近に感じられる場所になるとよい。
- 置賜ブランドは、まず地元がターゲットである。置賜の名前を地域内に広めた後に、仙台、首都圏と広げたい。首都圏の反響は、外国人も含めよい。一方、地域内では知名度が上がらない。
- 新しく開発したジュースは 200 円だ。カクテルに利用する。カクテル・飲料業界全体の売上が減っている。カルピスもそうだ。自分で割るのは難しくなっている。なので、改良してそのままだでも飲めるようにした。ギフトとして白ワインとセット販売を想定している。酒を入れて割ることも良いかもしれない。微炭酸である。シリーズ化も含め販売方法を模索している。
- 米沢農協のマークは、ニコニコ（太陽）のマークである。農協でも日本酒など独自に開発しているが、このマークが入っている。

- 首都圏の飲食店業者と情報発信力の高い消費者と「食文化フォーラム」を置賜のものを訴求するために開催している。恵比寿のガーデンプレイスのマルシェとともに「食文化フォーラム」を実施している。飲食店に収めて完成である。恵比寿は、飲食店がかなり多い。いろいろと興味を持たれる。持たれる方向性はその場で「こういうものだ」と教えられることが多い。

以上

⑦米沢繊維協議会

日時	平成 28 年 8 月 23 日（水） 9：30～10：30
場所	米沢繊維協議会内会議室
対象者	米沢繊維競技会 会長 近藤哲夫様 ワイオス米沢繊維競技会 事務長 佐藤伸二様

a. 「米沢ブランド」の取組状況について

- 米沢織の事業者組合数は、現在 75 社である。出荷額は 41 億である。服地が 67%で着物・洋服関係である。この中に完成品はない。41 億のほとんどが生地である。
- 米沢織については、ヴィトンなど有名なブランドが入っているが、どこで作られたのか特定しないでほしいと依頼されている。説明書はない。
- 何を発信すればよいのか、ということについて国内は、メイドインジャパンであることや、どこの産地か明確にしたいという方向性があるので、「米沢産」という地域団体の商標登録はしているので、それを使いたいとアパレルメーカーから依頼されている。ホームページにも記載されている。
- 申請登録は服地の業者から来ている。
- 地域団体商標のマークはある。看板や完成品にぶらさげるものである。「米沢織」を名乗る場合には、洋服はタグを使って訴求している。呉服はそこまでしなくてもよいらしい。
- 店に商品を置く時に、アパレルメーカーから中国産とは違うのだということで「米沢織」を打ち出したいということはある。
- ラベルシールで呉服用として昔に作ったことがある。鷲の Y マーク（米沢織の「Y」、鷹山公の「Y」）である。地域団体商標で行くなら、ロゴタイプでの指定文字を使う。洋服生地でもごく一部でしか使っていないので、もっと PR したい。呉服は、米沢織とは出ているが、「米沢織」以上に各メーカーのブランドで訴求して超えている。
- 「米沢織」を説明する公式の文章は、ない。米沢織とは、織屋の集合体であり、独特の意匠や繊維はない。上杉鷹山公に殖産振興の一環ということで、盛んにしてもらった産業だ。織物の総合産地で何でも作ることができるとも言える。一般的に、米沢織というと、着物・洋服・様々なものを作ることができる産地だ。それが逆に生き残っている理由でもある。
- 組合で急成長している商品・会社はない。ただ、ソアロン・トリアセテートで合成繊維メーカーと取り組んだもので動きが良かった商品はある。また、紅花染などの染加工はあり、大手の流通チェーンが取り上げたいという話はあるが、急成長はない。
- 婦人服が圧倒的に多い。ヨーカドーなどの量販店・百貨店向けが多い。中堅アパレルが主力でユニクロなどファストファッションには入っていない。ターゲット層もミドル以上である。富裕層狙いだ。

- ニットはごく一部あるが、数は少ない。
- 桐生は比較検討される。ジャガードに近い。
- 海外と取引している事業者もある。中間商社が介在する。ミラノへ年2回あり、出店する。
- ジャパンブランドには手を挙げたことはない。国でやっている施策はあまりうまくいっていないと感じる。
- 産地の中で新たな動きは、山口織物社は、「写真織」として小物を作っている。緞帳なども作っており、小物ショップとして展開している。組合には入っていない。
- 海外の有名なメーカーが草木染めを取り上げたいという話はある。ジェットロを通じて海外への売り込みもこれからだ。
- 佐藤繊維は完成品も作っている。糸・ニット・完成品が3：3：3という割合だ。糸も作りながら完成品も作り卸もしている。ただ、米沢市ではなく佐内である。完成品もあればよいのかもしれないが、競技会の流通を担っている和合？社、東北精錬、アトリエの3社は完成品に取組み、補助金をもらって動いている。完成品を作れば米沢織として全面に出せる。服地は生地提供でやっていることがほとんどだが打ち出しづらい。
- 上杉鷹山公の殖産振興という歴史が筆頭にあり、洋服から着物まで織ることができる総合産地ではある。米沢織について説明が記載されているが、それ以上以下はない。
- 組合の会社としてはターゲットが多いので、組合自体としては絞っていない。
- 米沢織は、いろいろできるから維持できている。下手な定義で、首を絞める。アバウトでよいのではないか。エンドユーザーから逆指名ができるような米沢織を目指す。
- 完成品だからわかりやすい。ただ、消費者に訴求できる商品を作ることに、組合員は興味がない。

b. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 着物はわかりやすいので、伝わる。野菜や牛肉と一緒に米沢をPRすることはOKだ。一緒にやりたいと県にも話をしている。米沢の温泉・施設・食べ物を皆知っていて、お客さんに訴求もしている。織についても訴求したいくらいだ。
- カフェと洋服・雑貨が一体になったイベントは良い。
- 海外に行く商社マンの名簿を買って、銀座でターゲットを絞った上で米沢を総合的に訴求する。ターゲットを絞るべきだ。服地もそういうことをすべきだ。完成品がほしい。
- 銀座や丸の内の上流クラスビジネスクラス客層対策をするのがよい。ファッションショーなどを開催し、米沢の美味しいものが送られてくるなどもよい。
- 昔から外貨対策で、温泉・食べ物・米沢織を訴求してきた。しかし、地元が反応し

ないので地元対策をやらざるを得ない。

- 個々の強いものがあるが、束ねて高いレベルで見せることが課題だ。
- 上杉の城下町なので、上杉の施設でガーデンパーティを行いうまいものを食べてもらうだけでも、都会の人は喜ぶ。歴史と文化を体感できる。都会から客を呼んでうまいものを食べさせて、温泉に入らせて、たくさんうまいものを買わせる。ただ、今はなかなかそのようなスタイルでは参加しない。
- もともと上杉鷹山公の時代では、米沢織は新しかった。今も「多品種・少量・短サイクル」のコンセプトは新しい。しかも国内産地だ。本当は、常に新しいことをしている。それが250年も続いている。いつまでも同じ「米沢織」ではない。売り先も新しい。
- 3月に着物の販売会を東京で行う。米沢織りメーカー15社が手作りのファッションショーやパーティをする。今回は20回目で両国のファッションセンターで実施する。エンドユーザーに向けて発信している。20回記念なので何かしたいという話はある。
- 何かをしたい。銀座のアンテナショップがあるが、1階は着物の展示会、2階は食事が出せることを検討した。着物と食文化を一緒に訴求することはある。
- 丸の内パレスホテル・「さんさんラボ」を借り切れば、全部できる。新しい米沢の姿を見せてもらう。価値がつけられることに興味がある。即商談ができなくても、誘客を含めてできないことはない。トータルの商談はある。
- 上杉の弁当もある。ただ、米沢料理をセットで出してくれるようなレストランは都心ではあまりない。平田牧場がある。波平？もある。
- 呼びたい客層は、従来のエンドユーザーが着物を着て参加することを促す。見てもらった後に、近くのレストランなどで酒・食べ物を提供する。メディアもかませる。3月2〜4日で実施する。10月20日〜21日で交通会館でもイベントがある。日中は商談をして、夜は合同で服と食を訴求するのはどうか
- 着物愛好者は米沢を知っているが、全国的な消費者は知らない。
- 有機ELと一緒に使うのは難しい。暗い。
- 「よねおりすと」という簡単に洋服のように着ることができる商品を出した。イベントの時にレンタルするのもよい。
- 着物をして料理接客（男性）をする取り組みもある。

以上

⑧米沢青年会議所

日時	平成 28 年 8 月 23 日（水）10：45～11：45
場所	米沢市 農林課 打ち合わせスペース
対象者	米沢青年会議所 専務理事 中村圭介様

a. 「米沢ブランド」の事業展開について

- 広域事業として、「雪灯籠祭り」を2月第二土日に実施している。さらに7月に商工会議所「Y（＝米沢）わんグルメグランプリ」を実施している。ミュージックフェスティバルも夏のイベントとして共催している。「Yわん」は、商工会議所青年部で主催している。子供をキャンプに連れて行ったりもしている。
- 「まち婚・まちバル」は、2年前に実施した。理事長は単年度制であるが、その年の理事長の方向性によって事業が異なる。
- 年1回、17青年会議所が山形県にあるが、一堂に会した山形ブロック大会がある。商業高校に「うこぎ」の菓子の販売をしてもらった。
- 米沢らしさは、観光資源は他の町と比較すると圧倒的にあると思う。米沢産のものは多い。単発では知名度がある。どう生かしかけているのか。単体で他の町で牛を売ることにはあるが、全体の資源が繋がらない。
- 米沢は二度の大火があったが、火災がなければ昔の町並みが残って、まちあるきができるのではないか、という思いはある。
- 外から来た人が駅前に降りると驚く。「上杉の城下町」なのに、城下町らしくない。
- 人が集まる観光地は「まちなみ」が揃っている。
- 小布施は歴史のある町ではないが、きれいに統一されていて人も集まる。行政がお金を出しているわけではないのに、人が集まるのはなぜか。
- 神社周りやお堀周りに雰囲気があるお店ができればよい。
- 都会の2～30代の女性が来るとすれば、食ではないか。仙台から米沢のラーメンを食べにくる人は多い。食べ物は美味しいと言われる。でも東京から人がそれで来るか。
- 歴女が刀剣を見に来る。「カタナ女子」だ。戦国武将のゲームで全国から数千人来る。ただ、ゲームが流行っているかにかかっている。単発だ。
- 「たまごカフェ」は、700円の卵かけごはんが、人気がある。
- 新たな目線で、例えば新しい食を作っていこうという動きは、これまではほぼ無かった。
- 上杉公の歴史は、「質素・儉約・我慢強い」という米沢気質につながっている。外に打って出ることは苦手かもしれない。
- J Cの今年のスローガンは「自分達の成長が町の成長になる」である。
- 根は真面目だ。「なせばなる」は「出る杭は打たれる」につながりかねないとも受け取れる。飛びぬけたことはやらない気質ではないか。おもてなしの気持ちはある。来

ると美味しいものを食べさせて、お土産たくさん持たす。それは必ずやる。「おしょうしな」精神だ。

a. 「米沢ブランド」に期待すること

- 米沢牛や米沢織のブランドはある。それらを伸ばすための事業なのか、それらをひっくるめた「米沢ブランド」を作ろうとするのかが見えない。理想は米沢のブランドが作れば、製品や味も全てにおいて安心だ。米沢産なら安心だと言われると良い。
- 京都のイメージではないか。「京和菓子」と上に「京」がつくだけで、おいしいというイメージを出す。全体の冠を作ることだ。
- ブランド発信すると言いながら、米沢市民が気づいているのかという疑問だ。地元のモノを知っているのか、食べたことがあるのか。「高いから買えない」という消費マインドを変えることが必要だ。
- 道の駅に期待する。お菓子でも野菜でもイメージが出来上がっている。
- 自身は市議をしている。不動産業は現在それほど行っていない。
- 鷹山公は知っているが、兼続が「町なみ」を作ったことは知られていない。地元が知らないのにブランド力が向上することは難しいのではないか。
- 手軽な方法で、地産地消を盛り上げることがあってもよい。
- 「べじちゃん」という地元の伝統野菜を使って市内飲食店にメニューを作ってもらう取組がある。農林課のおしょうしな協議会・市内飲食店と連携している。期間限定である。秋～冬で実施する。

以上

⑨米沢市総合政策課

日時	平成 28 年 8 月 23 日（水）15：00～15：30
場所	米沢市 総合政策課 打ち合わせスペース
対象者	米沢市 企画調整部総合政策課 地域振興主査 相田隆行様 米沢市 企画調整部総合政策課 地域振興担当主任 伊藤尊史様

a. 「米沢ブランド」の取組について

- シティプロモーション・都市ブランドについては、「歴史のもの」として上杉鷹山公の精神が大きい。うこぎ・米沢織・有機 EL・帝人という会社ができた・ノートパソコンが日本で初めてできたというのは「なせばなる」のチャレンジ精神が「ものづくりのまち」として息づいていることにある。
- ブランドとして1つの精神的なものがあり、うこぎ・鯉も鷹山公が、たんぱく源が乏しいということで取り入れて、現在も「米沢 ABC」として残っている。
- うこぎも塀と食べ物として息づいているが、ストーリーがある。食文化として残っている。ストーリーは大きい。
- 「チャレンジ精神」として残っているものと、「質素儉約」で残っているものとはいろいろある。「チャレンジ精神」は米沢織物がある。織物の産地というわけではなく、当時「あおそ」や「蚕」から糸をとることまでしかやっていなかったということを、それだけでは発展できないということで、織りや染、流通などの六次産業までやったのは鷹山公の時代だ。
- 産地というのは、工程を全てだ。織りだけではなく、糸をつむぎ、染、織るところまでが産地だ。着物だけではなく、米沢織りは米沢全てでおられているものを指す。服地は海外にでているが、それは 30-40 代の若手が米沢織物を継ぐということで頑張っている。昔は米沢織りというと高級だけだったが、今は自分たちがチャレンジする方向になっていると思える。
- （米沢織を伝えるような繊維関連）学校は、工学部の中にあつたが、現在はなくなった。家政学科がなくなってしまった。鷹山大学は、社会教育の一つだ。講師も地元の人で、生涯学習として開催している。それとは別に後継者育成として、米織りも含めて少なくなってきたので、市役所の商工課で後継者育成事業として月 1～2 回、プログラムを 1～2 年間やっている。興味を持てば織元へ入る人もいる。
- 米沢は学園都市ということで、85,000 人の人口の中に大学生が約 3,600 人いる。山形大学工学部が 2,000 人、米沢女子短期大学、栄養大学がある。そこと企業が連携して「ものづくりのまち」として有機 EL と一緒に伝統産業として「米沢ブランド」推進をしている。
- 大学生も米沢の伝統産業を感じるものがなく、6 年前から米沢の祭りを学生中心に運営している。鷹山公が伝えてきた無人市である「棒杭市」を任せているが、鷹山公を知ることとなる。昔遊び・伝統市もあり、職人や高齢者に聞いたことを学生自

身が教える。活動を通して米沢の地域の力となる。学生は当初 15 人だったが今では 110 人である。これらは「米沢四季のまつり委員会」実行委員会が実行している。市長が会長で商工会議所・観光コンベンション協会が事務局である。主催団体であるが、祭りごとに分科会（予算分配）がある。

- 速水さんがマークをロゴデザインした。10 年ほど前に制作した。「なせばなる」は対外的に鷹山公の言葉とは知られていない。一般的には、第二次大戦時に山本五十六が言葉を使ったことで知られている。
- 「上杉の町・米沢」はどちらかというと謙信公のイメージである。戦国時代が推しやすいので、観光としてその精神として「義」「愛」を使っている。今の時代にも共通して心に響くものは鷹山公である。学校でも鷹山公の教えは続いている。ただ、外向きには伝えづらく、戦国時代の謙信・甲冑になってしまう。
- 上杉鷹山公が知られたのは、ケネディ大使が「日本の信頼する政治家」として紹介したことだ。功績は分かるが、一つのブランドとして形にするのは難しい。地域振興からすれば、鷹山公が経済振興・観光振興として「鷹山ブランド」として出した。銅像はたくさんある。上杉神社でも 3 つもある。各種団体が作った。
- 鷹山は外人であるが、小中学校に謙信と鷹山の肖像画がある。鷹山公のマンガ伝記もある。ただ、行動を起こすことにはつながっていない。当たり前すぎるかもしれない。

→（金子）「なせばなる」を中心に、20～30 代に伝わる米沢の持続可能コンセプトを出せるとよいのではないか。

以上

⑩米沢商工会議所

日時	平成 28 年 8 月 23 日（水）15：45～16：45
場所	米沢商工会議所内会議室
対象者	米沢商工会議所 総務企画部企画マネージャー 情野浩二様

a. 「米沢ブランド」の取組について

- 「米沢四蔵銘酒味だより」については、交付金をもらって四蔵の酒をパッケージして提供した。日本酒が 3 蔵、ワインが 1 蔵だ。地域資源関連で四蔵の協力のもと、日本酒パッケージを出した経緯がある。パンフレットがある。
- 「米沢観光文化検定」11 年前からスタートし、昨年度で一旦終了した。
- 助成金をもらいながら商品開発をしていることが多い。「愛」焼酎・うこぎ・紅花を使ったものの商品開発をした。
- 「米沢ブランド」の認定制度はない。

b. 「米沢ブランド」の事業について

- 包括的な商品パンフレットはあり、3 年前に山形県から補助をもらって「置賜賜物」パンフレットを作成、商談会を行った。
- 商談会事業は、「置賜賜物物産カタログ」を 3 年前に作り、2 年前にカタログに掲載されている食品製造業・小売業を中心に首都圏・地域の百貨店・スーパー等に協力してもらい商談会をした。一作年はカタログにこだわらず、置賜地域全体対象に食品製造業を中心に商談会をした。市内で開催した。バイヤーは、個別であたるのではなく、東京商工会議所を経由して首都圏について募集をかけた。山形宮城商談会は、銀行主体で、仙台山形交代でやっているときに担当を聞いて、そこで知り合いになっているところにきてもらった。主に三越・伊勢丹・東武百貨店等、全部で 12 社（平成 27 年度）実施した。
- 仙台・米沢・会津若松 3 都市の商工会議所工業部会が、今年は米沢担当で、10 月 21 日に実施する。山形・福島・いわき・埼玉・新潟・秋田が出店予定である。3 年に 1 回まわってくる。
- 商談は東北、昨年は国際ホテルレストランショッップ、今年はスーパーマーケットトレードショーに参加する。
- 事業者は声をかけてもなかなか来ない。食品製造業は既にバイヤーとつながっている。新しいバイヤーとの取引やその場で提供し、魅力を感じるところもあるが、すでにコンタクトをとっている事業者は難しい。
- 既につながっているところは、常連とも限らないが、以前アプローチをかけているところで単価や物量が難しいところや、設備管理許認可が無理というところもある。設備で米沢はどれだけクリアできているのかは課題だ。つながっても、「いい悪い」がある。

- 催事ではなくレギュラーで入ることが課題となっている。
- 沖縄と米沢とはブランド力が違う。
- 米沢はブランド力が 50 位なのか 50 位以内なのか。それが大事だ。中途半端なデータは出さない方がよい。タイムリーなものを出してほしい。説得力がない。何年前のデータなのか。意味がない。
- 「米沢牛」ともてはやすのは、東日本である。西日本は、ブランド力が薄い。米沢牛は三大和牛としてどのポジションにあるのか。西日本は、他のブランドがある。いかに底上げすべきなのかが必要だ。すでにあるものを伸ばすのも方法だが、ベースアップも必要だ。商談会に参加すると「うちはまだそういうレベルではない」という内向的な発言が多く聞かれる。パッケージデザインのアドバイスをもらうということもあると言っても「まだまだだ」と言われる。自分の立ち位置が分かっていない。掘り起こしが重要だ。
- 以前、バイヤーのバスツアーを企画したが、バイヤーは乗り気ではなかった。なので、去年の商談会では商談会と一緒に展示も行った。出店してくれるものを 120 コマ作り 116 コマ埋めた（12 の商談、10 個の商品で 120 コマ）。でも、商談していないバイヤーが自由に見られるようにして、商談会に行かない事業者の商品も見られるように工夫した。でも、展示だけでは出展しない。企業数は 25～26 社だった。7～8 社、7～8 商談をしている企業もあった。市で実施した商談会は、商工会からもアプローチしているところがかぶっている。
- 「「バイヤーが来るから」「商談会があるから」来てね」、と言っても事業者は来ないだろう。根本的に「うちはいいいから」というところがほとんどだ。商工会の商談会にきていた事業者とほぼイコールだ。ネックは、長期間東京へ行って大丈夫かという体力の問題もある。やれるところは、1～2 社がいいところではないか。
- 紀ノ国屋など人を出さなくても販売できる場を提供することについて、オイシックスのような通販は、魅力的な話であると思う。ターゲットをどこにするのか。新たな米沢の商品というと、三越で流通していないもので、足で探すことになる。
- 外食産業への食材提供については、物流の問題が大きい。テストをすることはすごく良いと思うが、いつどの食材を使うのかだ。バイヤーが来るスケジュールが課題だ。
- パンフレットの内容は良いと思う。どれにするのかという事業者をピックアップしなくてはならないが、できていないので事業が空回りしている。
- 27～28 日に出席していた「ゆきんこ」は、最近やる気がある。アンケートは一方的に流すよりは、直接事業者へ足を使って直接コンタクトを取った方がよい。
- プランが出てきても、事業者へは足で稼がないと空回りになる。きちんとしたベースの企業をピックアップしてアンケートをしないといけない。足でかせぐことはあるだろう。それをやらなければ事業者は減る。関係構築が大事ではないか。
- バイヤーが来るのは実は魅力ではない。魅力は恐らく金子先生のアドバイスだ。コ

ンサルから「こういうものがあるから頑張ってみよう」といわれることが、実は足りない。事例を知っている先生が、引き上げることが必要ではないか。バイヤーはその次ではないか。それは商工会も手薄だったので反省している。自分達で気づかなかったことを気づいてくれる。米沢でない人が掘り起こすことが必要だ。米沢はそういう気質がある。説明会に来る人は、そこから一歩先に進んでいる。そうでない事業者をいかに引き上げるのか。その話し合いをしていくのが大事だ。

- 今回の取組も農林課と観光と商工会議所とJAという関係者で一度、ざっくばらんに話をした方がよかった。包括的な市のエリアとしてやる必要がある。今回のデータも農林課だけとなってしまう。全員でざっくばらんに話をし合うことが良いと思う。それぞれがどう取り組んでいるかをマトリックスで示す。別の団体がそれぞれの取組内容がわからないままに進んでも、プラスにはならない。

→(金子) 米沢市としては、農林・商工・都市整備課それぞれ何をしているのか、次回で整理したい。プレゼンをしてもらってもよいかもしれない。掘り起こしでじっくりやることもある。メニューは成功を作っていきたい。

→先生の魅力的なプランをどう理解して底上げしていくかが大事だ。必ずしも正解ではない。

→(金子) ヒアリングをして合わせることで、各団体で話し合い情報交換が大切だ。オール米沢として考えることと、各団体のブランドサポートが必要ではないか。

- 一団体として考えると、実施している事業で何が課題なのか。

→(金子) チャレンジしている組とそうでない組の格差がある。段階的に引っ張り上げ成長企業にしてことがある。バイヤーもそこを期待する。サポート事業が役に立つとありがたい。農協もそうだ。

- ヒアリング先に都市整備課の道路関連(小林様など)を入れた方がよい。仙台福島の道路が来年開通する。どう魅力を出すかが大事になってくる。景観形成より道路を入れたほうがよい。「福島大笹生IC」が今年開通する。それを契機に相馬・福島・米沢の地域資源の掘り起こしもする。パンフレット・会報を使い他地域のPRも行うという連携を行う。これから道の駅を立ち上げ連携も考えられる。カタログやブランドを作成しないと強みを発揮できず、ストロー現象が出てくる懸念もある。通過型観光も考えられる。道路は大事だ。

c. 「米沢ブランド」に期待すること

- 来月相馬で全国交流会議を実施する。10月に米沢会議、11月に福島会議がある。福島と相馬の会議所や会津喜多方とも交流会を行っている。ポジションをどう作っていくかが大事で、ブランド化してくれたらありがたい。強みを出せる。食べ物だけではない。認定制度や情報発信と入れた。

→(金子) 全国展開用の商品と地産地消で盛り上がっている商品と二階建てにする。チャレンジコースとプレミアムコースを設定する。

→それは良いと思う。一緒にすると漏れた人からクレームが来る。

- 米沢はいろんなキャッチコピーがある。やはりベースアップではないか。「鶴細工」は首都圏に出ている。展示実演型では、ワークショップとして草木染めなどもある。一刀彫りとこけし、駒の絵付け、刺繍、とんぼ玉、などもあるのではないか。

以上